

我孫子の教育

－平成30年度版－

我孫子市教育委員会

目 次

1. 我孫子市の概要	1
2. 我孫子市教育施策	2
3. 教育行政	
(1) 教育長及び教育委員	7
(2) 教育委員会議決事項	8
(3) 教育委員会事務局組織図	9
(4) 事務分掌	10
(5) 教育費当初予算年次別推移	13
4. 教育施策と今年度の主な事業	
目標Ⅰ. 子どもの創造性と自主性を育む教育の充実	14
重点施策1. 学校教育の充実	14
重点施策2. 地域に根ざした教育の充実	18
重点施策3. 子どもの成長・自立への支援	19
目標Ⅱ. 市民が生涯にわたって生き生きするための学習体制の充実	24
重点施策1. 生涯学習環境の充実	24
重点施策2. スポーツの振興	35
重点施策3. 文化芸術活動への支援と地域文化の継承	37
5. 資料	
(1) 我孫子市学校教育の重点	40
(2) 我孫子市の「学力」の定義	41
(3) 我孫子市が目指す小中一貫教育	42
(4) 市立小中学校一覧	43
(5) 学校紹介	44
(6) 生涯学習施設一覧	54
(7) 我孫子市指定文化財一覧	55
(8) 我孫子市教育行政年表	56

1. 我孫子市の概要

地勢 我孫子市は千葉県の北西部、都心から30km圏に位置しています。面積43.15km²の市域は、南北に約4km、東西約14kmと細長く、北側に利根川を、南側に手賀沼を望む、自然に恵まれた標高20m前後の台地と周囲の低地で形づくられた地形をなしています。

我孫子の歴史は古く、発掘調査により約3万年前から先人たちが住んでいたことがわかっています。利根川に面した縄文時代の「貝塚」や手賀沼に面した「我孫子古墳群」に遠い昔をしのぶことができます。時代の流れと共に、悠々たる歴史を育んできた我孫子に、近代化の幕が切って落とされたのは、明治29年に常磐線が開通してからのことです。鉄道が開通したことにより、大きな工場が建てられる一方、美しい自然に惹かれた当時の文人や文化人たちが競って住居や別荘を構え、経済の近代化や文化の面での活動が盛んになりました。さらに、明治34年には成田線が開通し、都心との経済的な交流もいっそう盛んになりました。昭和30年に、当時の「我孫子町」「湖北村」「布佐町」が合併し新制我孫子町となり、昭和45年7月1日に我孫子市が誕生した頃からは、急激に都市化が進んできました。市誕生当時は人口5万人弱でしたが、現在では13万2千人を超える人々が暮らし、首都圏の自然に恵まれた住宅都市として着実に発展しています。

我孫子の由来 「我孫子」という地名は非常に難読な地名として知られています。現在のところ、我孫子市域をさす「アビコ」として資料的に最古のものは、鎌倉時代末の正和2（1313）年の「尼しんねん譲（ゆずり）状」（土地の相続をめぐる遺言書）に「しもつきのくにあひこのむら」（下総国我孫子村）とあるものと考えられています。これにより少なくとも鎌倉時代には我孫子市域が「アビコ」として呼ばれていたことがわかります。それ以前の奈良・平安時代の公式な文書では我孫子市周辺は「下総国相馬郡」と呼ばれていて、我孫子という地名は確認されていません。

それでは、我孫子の由来とは一体どのようなもののでしょうか。古代において「我孫子」は氏（ウジ）や姓（カバネ）という、血筋や職種にかかわる苗字のようなものであり、人名として使用されていました。表記は異なりますが「阿毘古」「我孫公」という人の記録が残されています。古墳時代（3世紀から7世紀）にかけて日本列島で大きな権力を有した大王（オオキミ、のちの天皇家につながっていくとされる）や大和地方の有力豪族は、各地の地方豪族を支配下におさめる際に、豊かな土地を直轄地とし、そこに住む人々から貢納物を納めさせました。その際に土地やそこに住む人々に「我孫子」という名前が付けられたと考えられます。大阪や奈良をはじめ、全国各地に「我孫子」「安孫子」「吾孫子」などの地名や人名が認められるのはこのためであると思われまます。

また発掘調査の成果からみると、我孫子には水神山古墳（高野山、全長69mの前方後円墳。4世紀後半。千葉県北西部地区最大の古墳）が作られ、古墳時代の早い時期から大和政権とつながった人物がいたと考えられることから、文字として残されてはいませんが、大王や大和政権との深い結びつきから「我孫子」の地名が付けられたと考えられるのです。

2. 我孫子市教育施策

『我孫子市教育施策』は、教育委員会議の審議を経て、毎年度定めています。施策の展開にあたっては、積極的に情報を発信するなどして、市民の皆様と情報の共有を図りながら社会全体で「生きる力」をより一層育み、施策の基本方針である「個性を尊重し、互いに学び合う、学校教育並びに生涯学習の推進」を目指していきます。

平成30年度我孫子市教育施策

【基本方針】

個性を尊重し、互いに学び合う、学校教育並びに生涯学習の推進

【目標】

I. 子どもの創造性と自主性を育む教育の充実

重点施策1. 学校教育の充実

(1) 心身ともに健康な児童生徒の育成

- 思いやりのある豊かな心、社会性を育む規範意識を醸成する人権教育、体験活動及び道徳教育の充実
- 望ましい生活習慣につながる健康教育・食育の推進
- 心身の健全な発達を支える学校体育の充実
- 情操豊かな心を育てる文化的行事や学習活動の支援
- 情報モラル教育の推進
- 幼稚園・保育園から小学校へのスムーズな移行や「小1プロブレム¹」の解消などに向けた幼保小連携の推進

(2) 確かな学力の育成

- 主体的・対話的で深い学びの視点を意識した授業改善
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成
- 主体的に学習に取り組むための、個に応じたきめ細かな指導方法の工夫

- 全員がわかる、理解できるユニバーサルデザインIIの視点をもった授業の工夫
- 学級経営の支援（Q－U検査IIIの活用）と指導力の向上
- 児童生徒及び教職員の学校図書館活用の推進
- 外国語教育・活動における指導力の向上及びALTの活用

（3）小中一貫教育の推進

- 学力向上と豊かな心の育成、「中1ギャップIV」の解消をめざす、9年間を見通した小中一貫教育の推進
- 小中学校の円滑な接続を重視した中学校区の実態に応じた小中一貫教育の充実

（4）安心して快適に学べる教育・学習環境の充実

- 児童生徒の安全確保と防災体制・安全教育・防災教育の充実
- 学校内の放射線量等の測定と給食食材等の放射性物質検査の継続
- 校舎等の老朽化対策やICTV機器の更新など、施設や設備・教育機器などの整備と充実

（5）信頼される学校づくりの推進、教職員の意識高揚を図る職場環境づくり

- 子どもと向き合う時間の確保
- 学校評価を活用した学校運営の改善
- 情報の積極的な発信と保護者・地域への丁寧な説明
- 教職員全員で取り組むモラールアップ委員会の充実

重点施策2．地域に根ざした教育の充実

（1）地域全体で学校教育を支えるしくみづくり

- 学校支援地域本部事業VIの推進
- 社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力を全教育活動を通じて育成するキャリア教育の充実
- 地域の大学・高等学校との連携強化による児童生徒への学習支援

（2）地域に密着した学習の場の提供

- ふるさと我孫子の資源を活用した学習の推進

重点施策3．子どもの成長・自立への支援

（1）教育相談・支援体制の充実

- 一人ひとりの教育的ニーズに対応した特別支援教育の推進
- 適応指導や生徒指導を充実させるシステムの構築と相談体制の整備
- 不登校予防や解消に向けた支援体制の充実と関係機関との連携強化
- 就学支援の充実
- 帰国・外国人児童生徒への日本語支援体制の整備

(2) いじめ・非行防止対策の推進

- 我孫子市いじめ防止対策推進条例に沿ったいじめの予防、早期発見と対処及び解消
- 学校・市ほか関係機関との連携強化と相談窓口の充実
- 街頭パトロールの実施、青少年育成団体との連携強化による青少年の非行防止活動の推進
- 警察・生活安全関係機関との連携強化

(3) 子ども部との連携強化

- 特別に支援を要する児童生徒への支援体制の充実

Ⅱ.市民が生涯にわたって生き生きくらすための学習体制の充実

重点施策1.生涯学習環境の充実

(1) 学びたいときに学べる学習機会の充実

- 公民館の学級・講座や生涯学習出前講座の充実
- 鳥の博物館の教育普及事業の拡充
- 図書館サービスの充実、市民の読書活動の推進

(2) 人づくり・まちづくりにつながる学習活動の支援

- 時代の変化や地域の課題に対応した学習機会の提供
- 学んだ成果を社会や地域で活かせる人材の育成・活用

(3) 学習施設の整備・充実

- 公民館、図書館、鳥の博物館などの施設・機能の充実
- 湖北地区図書館の整備の検討

(4) 市民の学習活動を支える体制の整備

- 生涯学習推進計画に基づく施策の推進
- 生涯学習に関する情報の収集・提供と相談体制の整備・充実

- 市民活動団体・NPO法人・学校・企業等との連携強化
- 生涯学習ボランティアの育成・活用
- 子ども部等と連携した、子どもの読書活動推進計画の策定

重点施策2. スポーツの振興

(1) スポーツ施設の管理・整備と民間施設等の活用

- スポーツ施設の適正な維持管理
- 民間スポーツ施設の活用や近隣市施設の相互利用の推進

(2) 生涯スポーツの推進

- スポーツ推進委員と連携した総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- 生涯スポーツを支えるスポーツ指導者の養成

(3) スポーツを楽しむ機会の充実

- 市民が気軽に参加できるスポーツイベント等の開催

重点施策3. 文化芸術活動への支援と地域文化の継承

(1) 文化芸術活動への支援と環境整備

- 共催及び後援事業による文化芸術活動の充実
- 既存施設の効率的利用の促進
- 新たな大規模ホールを含めた文化施設の調査研究

(2) 新たな文化芸術活動の創出

- 文化芸術活動や団体に関する情報の発信
- 文化芸術活動にふれる機会や参加する機会の充実
- 我孫子の自然や風土をいかした新たな活動への支援

(3) 生活文化・郷土芸能の保存と継承

- 生活文化や郷土芸能の聞き取りや現地踏査などの調査・研究
- 生活文化や郷土芸能の継承

(4) 歴史的・文化的遺産の整備・活用

- 指定文化財制度や登録文化財制度による文化財の保存・活用
- 手賀沼文化拠点整備計画に基づく整備・活用の推進

(5) 埋蔵文化財や歴史資料の調査・研究

- 埋蔵文化財や歴史資料に関する調査・研究の推進

○埋蔵文化財や歴史資料に関する報告書・資料集等の刊行

(6) 歴史的・文化的遺産に関する情報発信の拡充

○歴史的・文化的遺産を公開する場や機会の確保

○地域の歴史や文化に親しめる環境づくりの推進

-
- I 小学校に入学したとき、生活リズムや学習内容になじめず、集団行動がとれない、席に座ってられないなどの行動が継続する状態です。
- II 学力の優劣や発達障害等の有無に関わらず、すべての児童生徒が「楽しくわかる・できる」ことを目指し、教科指導における工夫や様々な子どもへの配慮を駆使して行う授業。
- III Q-U検査（学級診断尺度調査）：Questionnaire-Utilitiesの略。学校生活における児童・生徒個々の意欲や満足感、および学級集団の状態を質問紙によって測定します。実施により、いじめの防止・発見、よりよい学級集団づくりに活用できます。我孫子市では、小学校は、3・4・5・6年生、中学校は、1・2年生で実施します。
- IV 小学校から中学校に進学したときに、学習内容や生活リズムの変化になじむことができず、いじめが増加したり不登校になったりする現象です。
- V ICT（情報コミュニケーション技術）：Information and Communication Technologyの略。市内小中学校ではコンピュータやインターネットに加えて、プロジェクタ、デジタルカメラ、プレゼンテーションソフトなどのICT機器が、各教科や総合的な学習の時間など多くの教科等で幅広く活用されています。
- VI 地域のコーディネーターを中心とする「学校支援地域本部」を設置し、地域住民や保護者が学校支援ボランティアとなり、学習や部活動の指導などについて、学校のニーズや地域の実情に応じて学校教育活動の支援を行うものです。

3. 教育行政

(1) 教育長及び教育委員

教育長

委員

委員

委員

委員

(教育長職務代理者)



くらべ としはる
倉部 俊治



とよしま ひでのり
豊島 秀範



はせがわ ひろこ
長谷川 浩子



あだち としひろ
足立 俊弘



がまだ ともこ
蒲田 知子

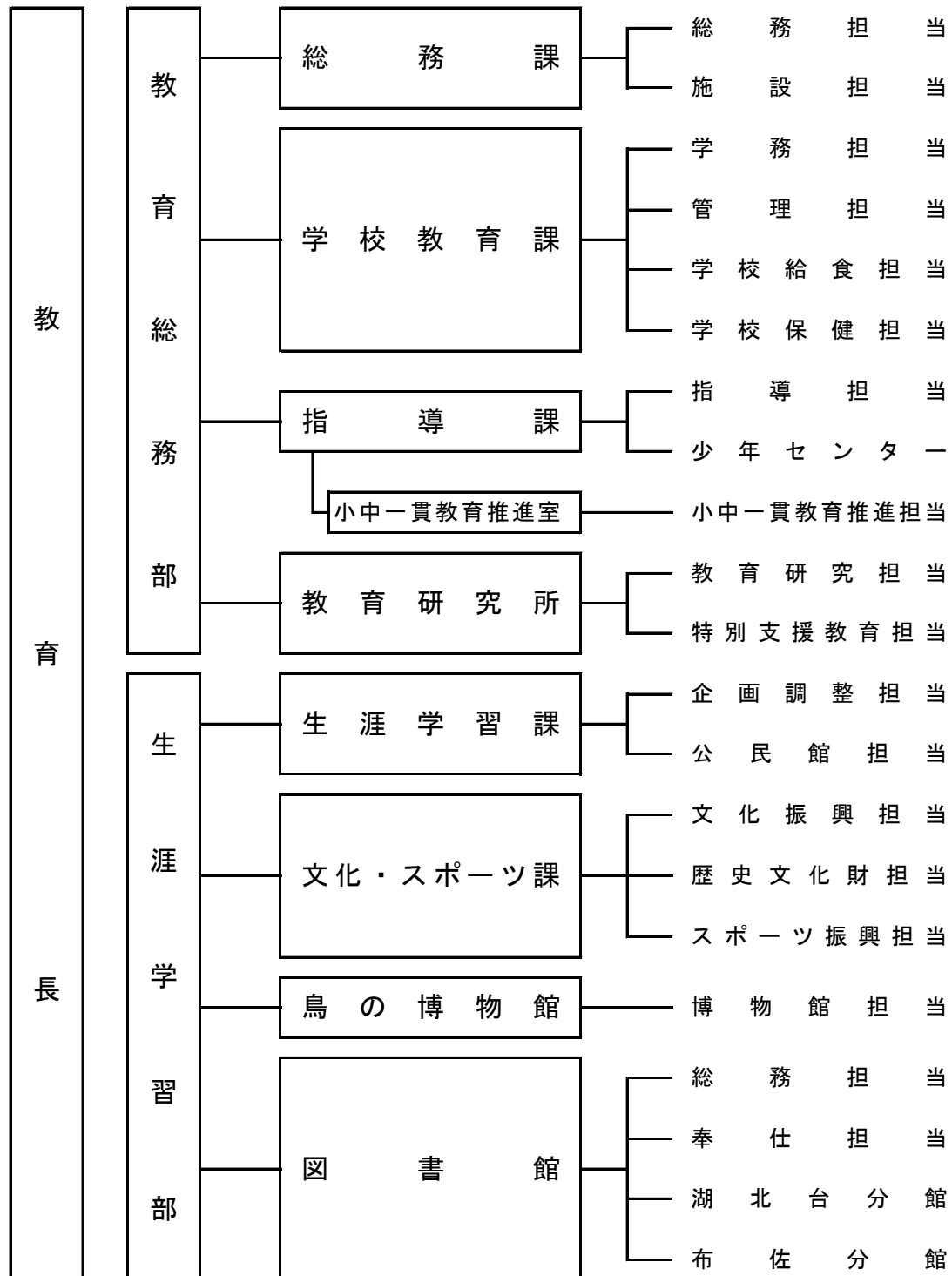
職名	氏名	任期	備考
教育長	倉部 俊治	平成30年4月1日から 平成33年3月31日まで (平成25年9月2日就任)	元市職員
委員 (教育長職務代理者)	豊島 秀範	平成28年12月26日から 平成31年12月25日まで (平成24年12月26日就任)	大学教授
委員	長谷川 浩子	平成29年12月22日から 平成33年12月21日まで (平成25年12月22日就任)	主婦
委員	足立 俊弘	平成26年10月3日から 平成30年10月2日まで (平成26年10月3日就任)	保育園園長 (保護者)
委員	蒲田 知子	平成28年12月26日から 平成32年12月25日まで (平成28年12月26日就任)	人権擁護委員

(2) 教育委員会議決事項

- (1) 教育行政の運営に関する基本方針を定めること。
- (2) 教育委員会の規則、訓令及び告示（規程形式に限る。）を制定し、又は改廃すること。
- (3) 予算その他議会の議決を要する事件の議案について市長に意見を申し出ること。
- (4) 教育機関の設置及び廃止を決定すること。
- (5) 教育機関の敷地を設定し、又は変更すること。
- (6) 教育機関の施設の整備計画を定めること。
- (7) 教育事務に係る特に重要な契約を結ぶこと。
- (8) 県費負担職員の任免その他進退に関する内申に関すること。
- (9) 教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関（県費負担職員を除く。）の職員の任免その他の人事に関すること。
- (10) 附属機関の委員を任命し、又は委嘱すること。
- (11) 教育功労者を表彰すること。
- (12) 市内の小学校及び中学校の通学区域を設定し、又は変更すること。
- (13) 教科用図書採択に関すること。
- (14) 教科用図書その他の教材の取扱いの方針を定めること。
- (15) 職員の研修の実施に関する方針を定めること。
- (16) 職員団体との重要な交渉に関すること。
- (17) 請願及び陳情に関すること。
- (18) 教育委員会がその当事者である争訟に関すること。
- (19) 市文化財の指定及び解除に関すること。
- (20) 審査請求に対する裁決に関すること。
- (21) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等に関すること。
- (22) 前各号に掲げるもののほか、重要又は異例に属する事項

(3) 教育委員会事務局組織図

(平成30年4月1日現在)



(4) 事務分掌

① 教育総務部

区分		事務の概目
総務課	総務担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部の企画調整に関する事。 ○ 公印及び例規類の整備保管に関する事。 ○ 教育委員会議に関する事。 ○ 教育委員会の規則等の制定及び改廃に関する事。 ○ 教育委員及び教育長の秘書事務に関する事。 ○ 教育行政の施策の総括及び各課の所掌事務の連絡調整に関する事。 ○ 儀式及び顕彰に関する事。 ○ 事務局職員の定数、任免その他の人事に関する事。 ○ 文書の受発及び保管に関する事。 ○ 附属機関の委員の任命及び委嘱に関する事。 ○ 事務局職員の研修及び福利に関する事。 ○ 議会との連絡に関する事。 ○ 教育行政相談受付に関する事。 ○ 教育振興基本計画の策定及び進行管理に関する事。 ○ 教育振興基金に関する事。 ○ 前各号に掲げるもののほか他の担当に属さない事務。
	施設担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校施設の整備計画に関する事。 ○ 学校施設の建築に関する事。 ○ 校地及び校舎の維持管理に関する事。 ○ 施設台帳の整備保管に関する事。 ○ 学校施設の国庫補助及び起債に関する事。
学校教育課	学務担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学齢簿の編成、整備及び保管に関する事。 ○ 児童生徒の就学、転学及び退学に関する事。 ○ 児童生徒の就学援助に関する事。 ○ 児童生徒の就学免除、猶予に関する事。 ○ 通学区域の設定及び変更に関する事。 ○ 通学区域審議会に関する事。 ○ 幼児教育振興審議会に関する事。 ○ 情報の公開等に係る受付及び実施に関する事。
	管理担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の設置及び廃止に関する事。 ○ 県費負担職員の任免その他の進退に関する内申及び服務に関する事。 ○ 学校の組織及び編制に関する事。 ○ 学校の教材、備品等の整備に関する事。 ○ 備品台帳等財産台帳の整備に関する事。 ○ 学校に対する予算配分及び執行に関する事。 ○ 学校教育に係る国庫補助及び県費補助に関する事。 ○ 学校教育に係る調査及び統計に関する事。 ○ 県費負担職員の福利厚生に関する事。
	学校給食担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校給食の運営に関する事。 ○ 学校給食の衛生管理に関する事。
	学校保健担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校に勤務する職員及び児童生徒の健康診断に関する事。 ○ 学校医、学校歯科医、学校薬剤師等に関する事。 ○ 学校保健及び学校安全に関する事。 ○ 学校教育施設の環境衛生に関する事。 ○ 日本スポーツ振興センターに関する事。

区分		事務の概目
指導課 (小中一貫 教育推進 室)	指導担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校経営及び学校教育の指導援助に関すること。 ○ 教育課程及び学習に関すること。 ○ 生徒指導及び教科外活動の指導助言に関すること。 ○ 教科用図書採択に関すること。 ○ 研究校その他研究機関の指導助言に関すること。 ○ 教職員の研修に関すること。 ○ コンピュータ教育に関すること。 ○ 進路指導に関すること。 ○ 学校の連合行事に関すること。 ○ 学校体育の振興に関すること。 ○ 学校教育におけるいじめに関すること。 ○ いじめ防止対策委員会に関すること。
	小中一貫教育推進担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小中一貫教育の計画に関すること。 ○ 教育課程及び学習指導に関すること。 ○ その他小中一貫教育に関すること。

② 生涯学習部

区分		事務の概目
生涯学習課	企画調整担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 部の企画調整に関すること。 ○ 生涯学習及び社会教育に関する調査及び諸統計、資料の刊行に関すること。 ○ 生涯学習審議会に関すること。 ○ 社会教育事業の計画・実施に関すること。 ○ 視聴覚教材・機材の貸出し及び管理に関すること。 ○ 社会人権教育に関すること。 ○ 成人式に関すること。 ○ 青少年関係団体に関すること。 ○ 子ども部の青少年健全育成事業との連携に関すること。 ○ その他社会教育に関すること。 ○ 生涯学習推進計画の策定及び進行管理に関すること。 ○ 生涯学習関係機関（小学校・中学校・高等学校・大学、民間教育機関、企業等）との連絡調整に関すること。 ○ 文化施設整備基金に関すること。 ○ その他生涯学習の振興に関すること。
文化・スポーツ課	文化振興担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化事業の計画及び実施に関すること。 ○ 芸術文化の振興に関すること。 ○ 芸術文化団体の指導育成に関すること。 ○ 伝統芸能継承活動の推進に関すること。 ○ めるへん文庫基金に関すること。
	歴史文化財担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財の保護・活用に関すること。 ○ 文化財審議会に関すること。 ○ 歴史に関すること。 ○ 文化財保存基金に関すること。
	スポーツ振興担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会体育施設建設計画に関すること。 ○ 社会体育施設の管理及び運営に関すること。 ○ 学校運動施設開放事業に関すること。 ○ スポーツ推進委員に関すること。 ○ スポーツ・レクリエーション団体の指導、育成に関すること。 ○ スポーツ・レクリエーションの振興に関すること。 ○ スポーツ・レクリエーション指導者の育成に関すること。 ○ ふれあいキャンプ場に関すること。 ○ スポーツ振興基金に関すること。

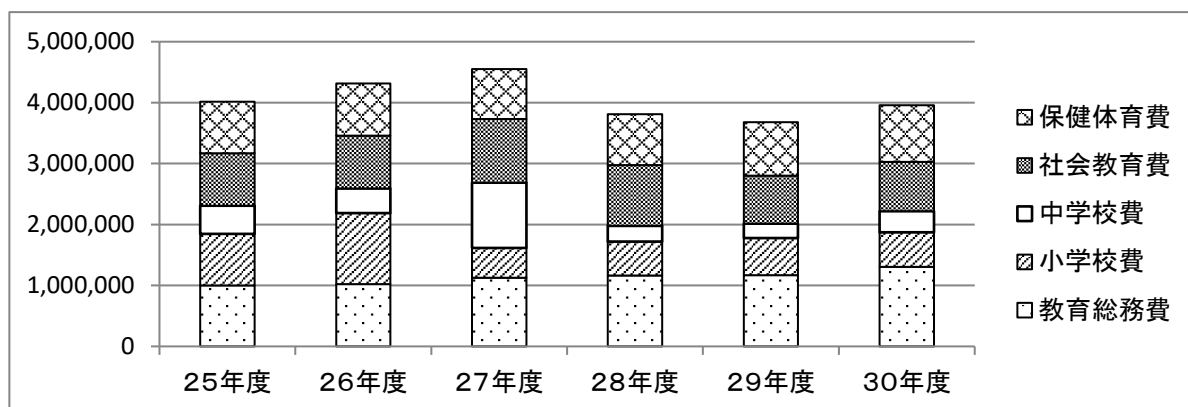
③ 教育機関

所属課	教育機関名	担当名	事務の概目
教育研究所	教育研究所	教育研究担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材及び教具の開発に関する事。 ○ 教科用図書及び教材の取扱いに関する事。 ○ 教育情報の収集と整理活用に関する事。 ○ 長期欠席児童生徒の指導に関する事。 ○ 適応指導教室（ヤング手賀沼）に関する事。
		特別支援教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援教育に関する事。 ○ 発達・教育相談に関する事。 ○ 児童生徒の教育支援に関する事。 ○ こども発達センターとの連絡調整に関する事。
指導課	少年センター		<ul style="list-style-type: none"> ○ 少年の指導に関する事。 ○ 少年センターの管理運営に関する事。
生涯学習課	我孫子地区公民館 湖北地区公民館	公民館担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学級、講座、講演会及び展示会等の実施に関する事。 ○ ボランティア、リーダー及び講師の養成に関する事。 ○ 公民館事業のカリキュラム等の調整及び調査研究に関する事。 ○ 公民館の管理運営に関する事。 ○ 公民館事業の資料作成、刊行及び配布に関する事。 ○ 生涯学習センターの管理運営に関する事。 ○ 生涯学習情報の収集、提供及び学習活動の奨励及び援助に関する事。 ○ 生涯学習相談に関する事。
図書館	我孫子市民図書館	総務担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館計画に関する事。 ○ 文書の受発、保管及び公印の管理に関する事。 ○ 施設管理に関する事。 ○ 図書館の情報管理及び統計に関する事。
		奉仕担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図書館の奉仕計画及び蔵書に関する事。 ○ 図書館の奉仕及びサービスに関する事。 ○ 関連団体の育成に関する事。 ○ 関係機関との相互協力に関する事。 ○ 図書館資料の整備に関する事。
		分館	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分館の奉仕及びサービスに関する事。 ○ 図書館資料の整理に関する事。
鳥の博物館		博物館担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 博物館施設の管理に関する事。 ○ 博物館運営計画作成に関する事。 ○ 博物館資料等の収集、保管及び展示に関する事。 ○ 博物館資料の調査研究及び普及活動に関する事。 ○ 他の博物館、関係機関との交流及び資料の交換に関する事。
文化・スポーツ課	白樺文学館	歴史文化財担当	<ul style="list-style-type: none"> ○ 白樺文学館資料の収集及び保存に関する事。 ○ 白樺文学館資料の展示及び閲覧に関する事。 ○ 白樺文学館資料についての調査及び研究に関する事。 ○ 白樺文学館の管理及び運営に関する事。 ○ 白樺文学館の入館受付に関する事。 ○ 白樺文学館の休館日、開館時間等に関する事。 ○ 白樺文学館の入館の減免に関する事。

(5) 教育費当初予算年次別推移

(単位：千円)

年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
教育総務費	1,020,275	1,127,637	1,162,600	1,167,867	1,304,469
教育委員会費	3,588	3,662	3,273	3,142	3,182
事務局費	342,336	331,518	343,457	331,073	330,678
教育研究指導費	347,506	426,308	440,381	438,933	444,594
学校教育費	326,845	366,149	375,489	394,719	526,015
小学校費	1,165,497	488,986	555,802	610,275	570,674
学校管理費	278,194	283,489	298,124	286,511	255,588
教育振興費	11,314	13,040	10,499	10,498	10,261
学校施設管理費	875,989	192,457	247,179	313,266	304,825
中学校費	406,219	1,071,184	261,490	234,147	345,582
学校管理費	173,313	167,156	170,154	170,471	148,436
教育振興費	5,724	5,743	1,827	1,827	1,597
学校施設管理費	227,182	898,285	89,509	61,849	195,549
社会教育費	864,312	1,042,157	996,599	789,400	805,342
社会教育総務費	160,592	143,246	133,073	115,546	109,813
公民館費	140,187	276,076	181,488	138,857	125,870
市史編さん費	4,046	5,387	7,677	9,300	1,669
文化費	78,328	132,260	114,401	80,982	132,341
少年センター運営費	4,547	4,509	4,566	4,552	4,635
図書館費	288,375	294,593	287,691	271,302	269,776
青少年教育費	4,963	5,101	4,944	4,381	5,807
博物館費	103,108	101,640	180,232	80,482	74,463
生涯学習センター費	80,166	79,345	82,527	83,998	80,968
保健体育費	858,821	819,073	835,436	878,327	931,589
保健体育総務費	89,515	74,851	77,688	98,967	92,285
保健給食費	619,508	589,352	594,163	609,121	614,293
体育施設費	149,798	154,870	163,585	170,239	225,011
教育費予算額	4,315,124	4,549,037	3,811,927	3,680,016	3,957,656
一般会計予算額	36,500,000	38,500,000	39,280,000	37,660,000	38,220,000
一般会計に占める割合	11.8%	11.8%	9.7%	9.8%	10.4%



4. 教育施策と今年度の主な事業

目標Ⅰ. 子どもの創造性と自主性を育む教育の充実

重点施策 1. 学校教育の充実

(1) 心身ともに健康な児童生徒の育成

- 思いやりのある豊かな心、社会性を育む規範意識を醸成する人権教育、体験活動及び道徳教育の充実
- 望ましい生活習慣につながる健康教育・食育の推進
- 心身の健全な発達を支える学校体育の充実
- 情操豊かな心を育てる文化的行事や学習活動の支援
- 情報モラル教育の推進
- 幼稚園・保育園から小学校へのスムーズな移行や「小1プロブレム」の解消などに向けた幼保小連携の推進

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
小中学校給食調理業務委託事業	小中学校給食調理業務の民間委託（18校）を継続します。委託契約3年目の学校については、次年度契約に向け12月より公募型プロポーザルによる事業者選定を行います。	学校教育課
我孫子産農産物の学校給食導入事業	我孫子産米「コシヒカリ」を市内小中学校の学校給食に導入し、使用回数は週約4回を維持します。お米を主食とした食生活や食文化の大切さを伝えます。 また、我孫子産野菜を月1～4回使用し、地元農産物への興味・関心を高めます。	学校教育課
栄養教諭・栄養職員を中核とした食育推進事業	食生活アンケートに基づき、各学校の食に関する指導全体計画及び年間計画に沿って、給食を生きた教材として活用した食育を推進します。	学校教育課



我孫子市学校保健会運営事業	児童生徒の健康保持増進の実践力を育成するために、小中学校における食育・歯科保健活動の充実を図ります。	学校教育課
教職員資質向上研修	人権教育及び道徳教育・情報モラル教育を充実させ、自分に自信を持ち、自他を大切にす豊かな心、社会性を育めるよう、教職員の質的向上に努めます。	指導課
小中学校体育文化活動事業	市内陸上競技大会で、体力の増強と挑戦する気持ちを育成します。市内音楽発表会で、他校の発表を鑑賞し合い、互いに学び合う場とします。	指導課
幼保小連携	「我孫子市幼保小連携・接続カリキュラム」を活用して、教職員の質的向上に努めます。	指導課

(2) 確かな学力の育成

- 主体的・対話的で深い学びの視点を意識した授業改善
- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成
- 主体的に学習に取り組むための、個に応じたきめ細かな指導方法の工夫
- 全員がわかる、理解できるユニバーサルデザインの視点をもちた授業の工夫
- 学級経営の支援（Q-U検査の活用）と指導力の向上
- 児童生徒及び教職員の学校図書館活用の推進
- 外国語教育・活動における指導力の向上及びALTの活用

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
教職員資質向上研修	市内小中学校が研究（研修）を実施するにあたって、より充実した研究となるように指導主事を派遣し、指導にあたります。教職員の指導力向上のため、我孫子市独自の研修会を開催し、市内児童生徒の学力の向上及び教職員の教育的資質の向上を図ります。	指導課
学力向上研修	児童生徒の学力向上のため、学力向上推進委員連絡協議会を主催したり、小中学校交流授業や研究協議会を開催したりすることにより、市内児童生徒の学力向上及び教職員の教育的資質向上を図ります。	指導課

学級経営の支援	不登校、いじめ、学級崩壊を予防してより良い人間関係づくりを構築し、学力向上を図るための学級経営支援を行います。	指導課
国際理解教育の推進	英語や外国の文化に興味関心を持ち、積極的に英語を活用しようとする児童生徒を育成するために、ALT（外国語指導助手）を市内全小中学校に派遣し、学級担任や英語科教員と協力して外国語及び外国語活動の授業を展開します。	指導課
学校図書館活用の推進	学校図書館支援センターが中心となって、学校図書館の「読書センター」・「学習センター」・「情報センター」としての機能の充実を図り、児童生徒及び教職員の学校図書館活用を推進します。	指導課 図書館 学校教育課 教育総務課
教職員研究論文集の発行	市内教職員による優れた教育実践を論文として募集し、それを顕彰し周知することで、市内教職員の研究への意欲や技術の向上と充実を図ります。	教育研究所

（３）小中一貫教育の推進

- 学力向上と豊かな心の育成、「中１ギャップ」の解消をめざす、９年間を見通した小中一貫教育の推進
- 小中学校の円滑な接続を重視した中学校区の実態に応じた小中一貫教育の充実

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
小中一貫教育の推進	小・中学校をスムーズに接続し、９年間の義務教育を通して、学習指導や小中・小小の豊かな連携活動を行います。各中学校区において、目指す１５歳の姿を共有し、ランドデザインを作成するとともに、「Abi☆小中一貫カリキュラム」の実施で、教育活動を繋ぎます。 学力向上、豊かな心の育成、郷土を愛する心の涵養を重点に、系統的・継続的な指導を行います。	指導課

(4) 安心して快適に学べる教育・学習環境の充実

- 児童生徒の安全確保と防災体制・安全教育・防災教育の充実
- 学校内の放射線量等の測定と給食食材等の放射性物質検査の継続
- 校舎等の老朽化対策や ICT 機器の更新など、施設や設備・教育機器などの整備と充実

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
小中学校施設の維持管理	<p>学校施設の改善工事、樹木剪定等の委託業務を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○受変電設備等更新工事 <ul style="list-style-type: none"> ・新木小学校 ・布佐南小学校 ・我孫子中学校 ・布佐中学校 ・久寺家中学校 ・湖北台中学校 ○プール濾過装置の更新 <ul style="list-style-type: none"> ・新木小学校 ○給水設備等更新工事 <ul style="list-style-type: none"> ・湖北台西小学校 ・湖北台中学校 ○消防用設備修繕 <ul style="list-style-type: none"> ・市内小中学校全 19 校 	総務課
学校給食施設の改修	給食施設の老朽化が著しいため、計画的な給食施設の改修が必要であり、運営方法等も含めて方針を定めます。	総務課
小中学校の放射能対策	定期的な放射線量測定の結果に基づき、局地的に放射線量が高くなってしまうホットスポットが生じた場合は、速やかに放射線量の低減を図ります。	総務課
小学校安全管理員配置事業	児童が安全で快適な学校生活を送れるよう市内小学校に安全管理員を配置し、学校敷地内の安全管理を行います。	学校教育課
学校給食管理運営事業	安全・安心でおいしい学校給食を実施するために、市内小中学校の学校給食管理・指導業務を推進するとともに、給食食材の放射性物質検査を行います。	学校教育課
小中学校コンピュータ教育の推進	ICT 教育の充実を図るため、各中学校区にタブレット型端末の配置と ICT 教育支援員の配置を順次計画的に進めていきます。	指導課

(5) 信頼される学校づくりの推進、教職員の意識高揚を図る職場環境づくり

- 子どもと向き合う時間の確保
- 学校評価を活用した学校運営の改善
- 情報の積極的な発信と保護者・地域への丁寧な説明
- 教職員全員で取り組むモラールアップ委員会の充実

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
スクールサポート教員配置事業	市内小学校にティームティーチングによる指導や少人数指導のための補助教員を配置し、児童のより多様な学習活動を支援し、学習効果を高めるために必要とする5校に5人を配置します。また、特別支援学級の担任の指導力向上のために、経験豊富な教員を小中学校に1名ずつ2名を配置します。	学校教育課
学校評議員制度事業	学校評議員からの意見や助言を参考とした地域に開かれた学校づくりを推進します。	学校教育課

重点施策2. 地域に根ざした教育の充実

(1) 地域全体で学校教育を支えるしくみづくり

- 学校支援地域本部事業の推進
- 社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力を全教育活動を通じて育成するキャリア教育の充実
- 地域の大学・高等学校との連携強化による児童生徒への学習支援

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
学校支援事業の充実	学校教育の質をより高めるため、学校と支援ボランティアを繋ぐ学校支援地域コーディネーターの活動を中学校区に広げます。環境整備や安全確保に加えて、学習支援ボランティアの活動を積極的に取り入れ、児童生徒の学習内容の定着を図ります。	指導課

キャリア教育の推進	「生きること」「学ぶこと」が持つ意義を児童生徒が総合的に理解できるよう、小学校から中学校3年生までの発達段階に応じて、キャリア教育を推進します。また、サッカーをはじめとした様々なスポーツ選手を学校に派遣する「夢の教室」を実施し、夢を持つことやその夢に向かって努力することの素晴らしさ、仲間と協力することの大切さなどを子ども達に伝えていきます。	指導課
-----------	---	-----

(2) 地域に密着した学習の場の提供

○ふるさと我孫子の資源を活用した学習の推進

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
ふるさとカリキュラムの実施	ふるさと学習を通じて地域への関心が深まり地域を愛する心情が育まれるよう、補助教材「ふるさと我孫子の先人たち」を活用した「Abi-ふるさと」の授業に役立つ指導資料集を作成します。	指導課
子ども議会	次代を担う小中学校の児童生徒に、議会制民主主義の理解や我孫子市のまちづくりに関心を深めてもらうとともに、小中学生の市に対する要望や意見などを聴取し、今後のまちづくりの参考にすることを目的として、隔年で開催しています。	指導課
副読本(社会科副読本「わたしたちの我孫子」、学習図鑑「ふるさと手賀沼」)の改訂	ふるさと学習を通じて地域への関心が深まり地域を愛する心情が育まれるよう、社会科副読本「わたしたちの我孫子」と学習図鑑「ふるさと手賀沼」の編集・改訂作業を進めます。	教育研究所

重点施策3. 子どもの成長・自立への支援

(1) 教育相談・支援体制の充実

- 一人ひとりの教育的ニーズに対応した特別支援教育の推進
- 適応指導や生徒指導を充実させるシステムの構築と相談体制の整備
- 不登校予防や解消に向けた支援体制の充実と関係機関との連携強化
- 就学支援の充実
- 帰国・外国人児童生徒への日本語支援体制の整備

今年度の主な事業

事業名	内 容	担 当
教育扶助事業	就学費用の負担が困難な児童生徒の保護者に対し必要な援助を行います。	学校教育課
発達障害のある児童・生徒の就学指導	こども発達センターや小中学校、関係機関と連携を図りながら、学校見学や体験を通して、一人ひとりの児童生徒に適した就学先を保護者が選択できるよう情報提供していきます。	教育研究所
スーパーバイザー派遣事業	専門医・臨床心理士等の専門家からなるスーパーバイザーを市内小中学校に派遣して指導・助言を得ています。それを通して、特別な教育的支援を要する児童生徒についての理解を深め、一人ひとりに適切な支援ができるよう、教職員の指導力の向上を図ります。	教育研究所
学級支援員派遣事業	特別な教育的ニーズのある児童生徒が安全、安心な学校生活をおくることができるよう、学級支援員や通訳を配置します。	教育研究所
教育研究所巡回事業	年2回、市内全19校を巡回します。指導主事による授業観察や特別支援教育コーディネーターからの説明等を通して、各学校の特別支援教育体制を確認します。	教育研究所
特別支援教育に関する研修会	特別支援教育コーディネーター研修会を年2回、学級支援員研修会を年2回、きこえの研修会を年1回開催するとともに、各小中学校での校内研修会の開催をサポートして、特別な教育的支援を要する児童生徒の指導、支援の在り方について、教職員の理解の向上を目指します。	教育研究所

教育研究所アドバイザー事業	学校生活において何らかの困り感がある児童生徒について、学校の要請に基づいて相談員が訪問し、必要に応じて授業観察や心理検査等を実施してアセスメントを行います。それらを関係職員と共有し、校内で対象児童生徒に必要な対応が行われるよう支援します。また、必要に応じて保護者面接、他の専門機関の情報提供、連携も行います。	教育研究所
就学相談事業	特別な教育的支援が必要と思われる児童生徒の就学について相談を受けます。就学までの流れや説明会・見学会・体験会を実施しながら、就学までの保護者の悩みに寄り添います。また就学時健康診断では、就学後の支援につながる行動観察等を行います。さらに年4回開催する教育支援委員会に専門員として参加し、助言等を行います。	教育研究所
長欠対策事業	市内小中学校全19校に「心の教室相談員」を配置し、児童生徒・保護者や教職員の教育相談を受けます。また市内小中学校の長欠対策担当教員を対象として、年3回研修会を行います。	教育研究所
教育相談・発達相談事業	市内小中学生に関する、登校できない・友達ができない・勉強が苦手・コミュニケーションがとれない・落ち着きがない等の本人や保護者の悩みについて、電話や来所での相談を行います。	教育研究所
適応指導教室「ヤング手賀沼」の運営	不登校児童生徒に対して、集団への適応・自立を促し、学校生活への復帰を目指した段階的支援・指導を行います。適応指導教室の建物が老朽化しているため、32年度の大規模改修に向けて計画を進めていきます。	教育研究所
小中学生のためのいじめ・悩み相談ホットライン	教育研究所に電話とメールによる相談窓口を設置し、専門の相談員が対応にあたることで児童生徒の悩みやいじめの解決に取り組んでいきます。	教育研究所

国際理解教育の推進	日本語を理解することが困難な児童生徒に対し、日本の生活に慣れ、有意義に学校生活を送れるようにするために、日本語指導者及び通訳を派遣します。	指導課 教育研究所
-----------	---	--------------

(2) いじめ・非行防止対策の推進

- 我孫子市いじめ防止対策推進条例に沿ったいじめの予防、早期発見と対処及び解消
- 学校・市ほか関係機関との連携強化と相談窓口の充実
- 街頭パトロールの実施、青少年育成団体との連携強化による青少年の非行防止活動の推進
- 警察・生活安全関係機関との連携強化

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
いじめ防止対策事業	いじめの未然防止、早期発見、早期解決に向けて、市のいじめ防止対策推進条例に基づき、組織的・継続的ないじめ防止に努めます。また、教育委員会いじめ防止対策担当が学校を訪問し、指導・助言にあたります。	指導課
少年センター業務	少年指導員理事会を開催し、東葛飾地区における、犯罪・防犯に関する現状報告を通して、青少年の健全育成および非行化防止に向けての資質向上に努めます。 少年指導員92名が、6中区に分かれて、商店街やゲームセンター、公園などのパトロールを行い、青少年の健全育成や非行化防止、犯罪被害の防止に努めます。 市内、近隣市における不審者・変質者情報について、登録者にメール配信を行うことにより、注意喚起を促すことで、犯罪被害の防止に努めます。 県下一斉列車パトロールを実施し、マナーの向上・非行防止・健全育成に努めます。	少年センター

<p>少年センター業務</p>	<p>市民全体で子どもを見守ろうという意識の高揚を図ることを目的として、学校を通じて「こども 110 番の家」の登録と看板、またはステッカーの配置を依頼します。</p> <div data-bbox="708 421 1070 696" data-label="Image"> </div> <p>広報紙「きずな」を発行することにより、社会の中で規範意識を醸成するような支援および情報提供に努めます。</p> <p>市、自治会、教育関係機関、我孫子警察署など、関係機関の連携・協力により、犯罪のない明るい社会の実現に努めます。</p>	<p>少年センター</p>
-----------------	---	---------------

(3) 子ども部との連携強化

○特別に支援を要する児童生徒への支援体制の充実

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
<p>スーパーバイザー派遣事業 特別支援教育に関する研修会 教育研究所アドバイザー事業 就学相談事業 教育相談・発達相談事業</p>	<p>(20、21 ページ参照)</p>	<p>教育研究所</p>

目標Ⅱ. 市民が生涯にわたって生き生きくらすための学習体制の充実

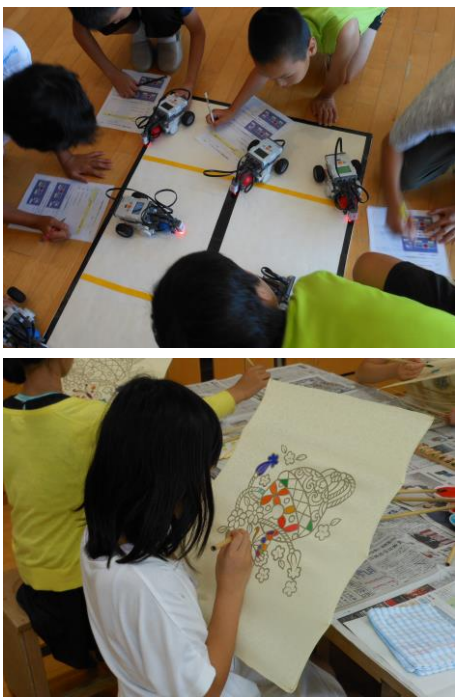
重点施策 1. 生涯学習環境の充実

(1) 学びたいときに学べる学習機会の充実

- 公民館の学級・講座や生涯学習出前講座の充実
- 鳥の博物館の教育普及事業の拡充
- 図書館サービスの充実、市民の読書活動の推進


今年度の主な事業

事業名	内容	担当
のびのび親子学級	<p>2、3歳児コース4コースを開設します。人間形成に重要な幼児期の子育てについて、参加者同士の交流を深めながら学びます。5月～1月</p> 	生涯学習課
家庭教育学級	<p>小学校1年生の子どもを持つ保護者を対象に開設します。子育てについての学習や参加者同士の情報交換を通じて、家庭・親子のあり方を考える機会を提供します。5月～1月</p>	生涯学習課
アピコでなんでも学び隊	<p>小・中学生を対象に、地域の学校・企業・専門家の協力を得て、科学実験・工作・料理・スポーツ等の学び体験を通じて、子どもの夢や希望を広げる場として実施します。</p>	生涯学習課

	<p>6月、7月、8月、9月、10月、12月、1月に開催します。</p> 	
生涯学習出前講座	<p>市民が主催する学習の場へ講師が出向いて講座を実施します。</p> <p>講座は、文化・芸術等の分野において、専門的な知識、技能等を持った市民の方がボランティアで講師を務める「市民講師メニュー」や、中央学院大学、川村学園女子大学の教員が講師を務める「キャンパスメニュー」、市政に関し職員が講師を務める「市役所メニュー」があります。</p>	生涯学習課
視聴覚教材・機材の貸し出し	<p>視聴覚教材・機材の維持管理に努めながら、広く市民に貸し出し、視聴覚教育を行います。また、教材・機材を使用し、8月に夏休み16ミリアニメ上映会を開催します。</p>	生涯学習課
てがたん（手賀沼周辺の自然観察会）の開催	<p>博物館周辺の水田・畑地・斜面林、手賀沼と周辺のヨシ原を対象に自然観察会を実施します。主に市民スタッフと協働で引率、説明を行います。毎月第2土曜日、午前10時から12時（雨天中止）</p> <p>第1回（4/14）「“春限定”の自然観察」 第2回（5/12）「鳥の子育て」 第3回（6/9）「田んぼに集まる生き物たち」</p>	鳥の博物館


	<p>第4回(7/14)「手賀沼の魚を観察しよう」 第5回(8/11)「空をめざした生き物たち」 第6回(9/8)「地面の上の落とし物」 第7回(10/13)「ヒヨドリの渡り」 第8回(11/10)「鳥の色、自然の色」 第9回(12/8)「ホオジロたちの暮らしかた」 第10回(1/12)「もっと知りたいカモのこと」 第11回(2/9)「光の春を探そう」 第12回(3/9)「気にならない木を気にしてみる」</p>	
あびこ自然観察隊	<p>我孫子周辺の自然を特徴づける環境を選び、自然観察会を実施します。場所やテーマにより、県立手賀の丘少年自然の家、手賀沼課との共催で行います。</p> <p>第1回(6/17)「チョウゲンボウを観察しよう」 第2回(7/26、8/2)「手賀沼のプランクトンと水鳥観察」 第3回(11/23)「晩秋の手賀川観察会」 第4回(2/17)「オーイ！冬鳥くん」 第5回(3/21)「春の谷津田観察会」</p>	鳥の博物館
ジャパンバードフェスティバル	<p>財団法人、企業、行政等で構成する実行委員会が、自然環境の大切さを提唱するため、手賀沼公園、アビスタ、親水広場、鳥の博物館を主会場に、鳥と環境をテーマにしたイベントを開催します。手賀沼課、商業観光課と共同事務局を立ち上げて行います。30年度は11月3日、4日開催。</p>	鳥の博物館
室内啓発イベント	<p>博物館学芸員、市民スタッフの指導で簡単な工作や実験を行い、子どもの創造性を啓発します。また、鳥類の研究者と一般市民が出会う機会を設け、自然を科学的な目で観察することへの関心を高めます。</p> <p>フロアスタッフイベント(年2回)、Enjoy手賀沼！開催日の室内イベント、夏の遊びと研究大集合(8/4～8/26の土日祝)・鳥に関する自由研究の展示及び自由研究相談(夏休み期間中)、テーマトーク(9月、11月を除く毎月第3土曜日)、鳥博セミナー</p>	鳥の博物館

	ー（年1回、30年度は、7/29）	
常設展の充実	「世界の鳥」コーナーや多目的ホールの展示標本の充実をはかります。27年度よりタッチ式デジタルサイネージを活用した画像による展示・案内を開始しました。これを補うパンフレット設置により最新の情報を提供できるよう努めています。	鳥の博物館
企画展の実施	<p>自然環境の保全に関心を持ち、理解を深めることができるように、鳥や自然環境に関する季節性や話題性に即したテーマを選び、年3回程度実施します。併せて博物館ボランティアや博物館友の会会員の活動成果の発表機会として利用できるようにコーディネートします。</p> <p>第80回（1/27～6/24）「日本の海鳥～カムリウミスズメと行く海の旅～」 第81回（7/14～11/25）「我孫子の都市鳥～都市の発展と鳥たちの移り変わり～」 第82回（12/8～1/14）「友の会展」 第83回（2/2～6/16）「てがたん展～我孫子で楽しむ自然観察～」</p>	鳥の博物館
夜間開館実施事業	アビスタ本館では、全開館日を午後8時まで開館し、利用者サービスの充実を図ります。	図書館
近隣センターでの図書館サービス	市民活動支援課と連携して、新木近隣センターと天王台北近隣センターで図書館資料の貸出・返却受付を行います。	図書館
図書館ホームページ運営・活用事業	情報内容を充実させ、市民が利用しやすいホームページを作成していきます。	図書館
図書資料収集事業	幅広い分野にわたる資料（図書等）の中で、我孫子市が重点的に取り組んでいるまちづくり郷土コーナーの資料、生活課題の解決につながる資料、仕事に役立つ資料、児童期に生きる力を育む資料、青少年世代に親しみやすい資料を充実させます。	図書館
図書館の情報化推進事業	外部有料データベース（新聞）を活用し、より高度な情報の提供を行います。また、図書館電算システムを的確に運用し、図書館サービスを充実させます。	図書館

<p>市外図書館・大学・関係機関との連携協力</p>	<p>市内2大学と連携し、市民の大学図書館利用や資料の閲覧を可能にし、大学への団体貸出も行います。また、国立国会図書館、千葉県立図書館、県内市町村立図書館と連携し、図書館資料の相互利用を図り、多様かつ高度な資料提供を可能にします。</p>	<p>図書館</p>
<p>図書館主催講演会・講座</p>	<p>・講演会 「評価される維新の「志士」－伝記から見る大久保利通像の変遷－」（講師：宮間純一さん）7月8日（日） 明治150年となる今年、明治維新を牽引したひとりである大久保利通の人物像を追います。</p> <p>・講座 「食農くらぶ：栽食健美」10月5日（金） 農政課と連携し、野菜栽培の基本講座と野菜のおいしい食べ方講座を実施します。</p>	<p>図書館</p>
<p>郷土行政資料サービス事業</p>	<p>我孫子市・千葉県の郷土行政資料を収集・保存し、市民に提供します。白樺文学館、杉村楚人冠記念館、その他の文化施設と連携を密にし、企画展示、講演会等を実施します。</p> <p>・楚人冠講座（共催）2回 7月21日（土）ほか1回</p> <p>・河村蜻山展共催事業 DVD上映会「リーチ・ポタリー1952 陶芸家バーナード・リーチの工房」上映会を白樺文学館で実施。</p> <p>11月4日（日）、1月18日（金）</p> 	<p>図書館</p>

<p>文字・活字文化の日 (10月27日) 関連事業</p>	<p>読書の楽しみを広め、図書館利用の促進を図るため、講座の開催及びPR誌の発行をします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブックフィルムコーティング講習会 10月24日(水) アビスタ本館 10月25日(木) 布佐分館 10月26日(金) 湖北台分館 ・秋のたより(一般向け)の発行 	<p>図書館</p>
<p>児童サービス事業</p>	<p>①おはなし会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子で楽しむおはなし会(3歳以下の乳幼児と保護者対象) ・おはなし会(4歳～9歳対象) ・出張おはなし会 ・そよかぜおはなしタイム(移動図書館青山台・久寺家ステーションでのおはなし会) <div data-bbox="678 929 1093 1243" data-label="Image"> </div> <hr/> <p>②学級文庫の利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の協力のもと、各クラスに図書<small>の</small>団体貸出を行い、子どもたちの読書環境を充実させます。 <hr/> <p>③小学生向け図書館情報紙「たんた新聞」の発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4、7、10、12月に発行し、楽しみながら本に親しむ環境づくりに努めます。 7月1日号は、市内全小学生に配布し、夏休み中のおすすめ本を紹介します。 4月23日号は、子ども読書の日、10月1日号は、文字・活字文化の日にちなんで発行します。 <hr/> <p>④子ども読書の日(4月23日) 関連事業「本を読んでおりがみまめ本をもらおう」の実施(4月24日から5月25日まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の利用カードで図書館の本を借りた 	<p>図書館</p>

	<p>幼児・小学生を対象に、おりがみまめ本と図書館オリジナルのシールをプレゼントします。</p> <p>⑤子どものための科学実験講座 ・身近な題材で科学実験講座を実施することにより、子どもたちの科学への関心を高め、読書へとつなげます。 8月1日（水）午前：布佐分館 午後：アビスタ本館</p>  <p>⑥離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ ・保健センターと連携して、離乳食教室の場に出向き、市民スタッフとの協働のもと、乳児と保護者を対象に、絵本にふれる大切さや楽しさを伝えるため、図書館の利用案内及び絵本の読み聞かせを実施します。</p> <p>⑦文字活字文化の日（10月27日）関連事業「よむよむラリー」の実施（10月2日から11月30日まで） ・幼児・小学生を対象に読書スタンプラリーを実施し、ゴールした用紙をパウチして記念品としてプレゼントします。</p>	
<p>市内小中学校の図書館との連携・協力事業</p>	<p>指導課と共催で、年2回学校図書館市民図書館連絡会議を開催し、子どもたちの読書環境向上に向けて方策を検討します。また、学校図書館整備支援、調べ学習のための資料・情報提供を行います。</p>	<p>図書館</p>
<p>学校図書館支援センターの運営</p>	<p>指導課・学校教育課・総務課と連携して、学校図書館機能の充実を図り、児童・生徒及び教職員の学校図書館活用を推進していきます。学校司書への研修会を開催します。</p>	<p>図書館 指導課 学校教育課 総務課</p>

<p>図書館利用に障害のある人へのサービス事業</p>	<p>視覚障害の方への対面朗読、来館困難な方への資料の宅配サービス、耳や言葉の不自由な方へのファクシミリでのリクエストの受け付けを行います。また、視覚障害等が原因で読みたい資料をそのままでは利用できない市民に、資料の内容を音声化したダイジー録音図書を、市内朗読ボランティアと協働で作成し、提供します。</p>	<p>図書館</p>
<p>移動図書館巡回事業</p>	<p>図書館に来館しにくい地域の住民のために、市内14か所に移動図書館を巡回させます。また、高齢者施設への団体貸出等を進めます。</p> 	<p>図書館</p>
<p>多文化サービス事業</p>	<p>在住外国人が気軽に図書館を利用できるように、外国語資料等を充実します。</p>	<p>図書館</p>
<p>図書館市民スタッフとの協働事業</p>	<p>図書館市民スタッフとの協働によって、視覚障害者等への対面朗読サービス、高齢者のつどいへの出張おはなし会、移動図書館青山台ステーション・久寺家ステーションでのおはなし会、布佐分館おはなし会、学校図書館整備支援事業、保健センターでの乳児と保護者対象の絵本の読み聞かせ事業等を行います。</p>	<p>図書館</p>

(2) 人づくり・まちづくりにつながる学習活動の支援

- 時代の変化や地域の課題に対応した学習機会の提供
- 学んだ成果を社会や地域で活かせる人材の育成・活用

今年度の主な事業

事業名	内 容	担 当
成人式の開催	成人代表と連携し、式典の企画と運営を行います。 対象：平成 10 年（1998）4 月 2 日～平成 11 年（1999）4 月 1 日に出生した者。 平成 31 年 1 月 13 日（日）けやきプラザで開催	生涯学習課
長寿大学	65 歳以上の市民を対象に、4 年制の高齢者学級を実施します。高齢期の課題とともに地域の活動やまちづくり等に参画できるよう学習課程を学びます。 4 月～3 月	生涯学習課
熟年備学	熟年世代（40 歳以上）を対象に、豊かで充実した人生を送るには、どんな備えが必要なのか、知識と心構えを学びながら、これからの人生を考える場として実施します。 5 月～1 月	生涯学習課

（3）学習施設の整備・充実

- 公民館、図書館、鳥の博物館などの施設・機能の充実
- 湖北地区図書館の整備の検討

今年度の主な事業

事業名	内 容	担 当
生涯学習センター施設の維持管理	誰でも、いつでも、どこでも学べる生涯学習の場として、快適で利用しやすい施設の管理運営に努めます。 	生涯学習課

湖北地区公民館の運営	施設の設置目的をより効果的・効率的に達成するため、指定管理者制度を活用し、生涯学習の場の整備・充実を進めます。	生涯学習課
地域交流教室の管理運営	小学校5校の余裕教室6教室を、大人と子どもの交流や学習等の様々な活動の場として提供します。	生涯学習課
鳥類生息状況調査	我孫子市周辺地域の自然環境の特性を鳥類の生息状況から把握するため、センサス等調査を実施し、結果を公表します。また、それらの成果を企画展にも反映させます。さらに結果をまとめた『調査研究報告書』をインターネットによりPDF配信します。	鳥の博物館
鳥類標本・資料の収集	博物館事業の基盤となる鳥類標本資料の収集と永続的な保管管理を行います。また、標本情報をデータベース化し利用者の便に供することができるようにします。 30年度は、山階鳥類研究所により国内の関係機関が保有する貴重な鳥類標本を横断的に検索できるデータベースを立ち上げる研究所計画(30～32年度)が立案され、そのパイロットケースとして、当館が保有する標本資料について、画像の作成、データの整備などを協働で進めたうえで、同研究所との間でコンソーシアムを設立、相互の資料を横断的に検索できるウェブサイトが開設、運営されることとなります。	鳥の博物館
図書・映像資料の整理とデータ作成	鳥類に関する図書を収集し、保存管理するとともに、データベース化し、利用者の便に供します。本棚の設置等により資料コーナーを充実します。	鳥の博物館
常設展示リニューアル(手賀沼文化拠点整備計画)のための資料調査	開館後25年以上経った鳥の博物館の展示リニューアルに向けて資料調査を行います。	鳥の博物館
鳥の博物館ミュージアムショップの充実	入館者の要望や意見を積極的に取り入れ、安全で楽しく遊べるグッズや来館記念となるオリジナルグッズを用意し、来館者が楽しめるようなミュージアムショップとして充実を図ります。	鳥の博物館

鳥の博物館施設設備の維持管理	開館後25年以上が経過し、劣化した施設や設備の修繕、更新を行います。	鳥の博物館
図書館施設設備の維持管理	安全で快適な読書環境を提供するために施設や設備の維持管理に努めます。	図書館

(4) 市民の学習活動を支える体制の整備

- 生涯学習推進計画に基づく施策の推進
- 生涯学習に関する情報の収集・提供と相談体制の整備・充実
- 市民活動団体・NPO法人・学校・企業等との連携強化
- 生涯学習ボランティアの育成・活用
- 子ども部等と連携した、子どもの読書活動推進計画の策定

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
生涯学習審議会	生涯学習推進の施策や事業などについて検討・審議を行います。 全体会は、年2回程度開催 部会は、必要に応じて開催	生涯学習課
生涯学習推進本部会議及び幹事会の開催	生涯学習推進計画に関する課題の調整や進行管理を行います。	生涯学習課
生涯学習推進事業	大学や生涯学習団体、他課等と連携し、市民の学習ニーズにあった単発講座を開催します。 また、生涯学習情報紙「あびこ楽校ニュース」を発行します。	生涯学習課
保育スタッフ事業	公民館や図書館利用者のための一時保育を保育ボランティアの協力を得て実施します。 4月～3月	生涯学習課
鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	友の会は会員自らの生涯学習（鳥絵、鳥凧など）を展開し、市民スタッフは環境学習・体験学習のリーダーとして、また、来館者へのガイドとして必要な実体験や学習を習得するための支援を行います。	鳥の博物館

我孫子市子どもの読書活動推進計画の策定	我孫子市の現状と課題を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、家庭、地域、市民図書館、学校図書館、保育園等における子どもの読書環境の整備・充実を図るとともに、相互の連携を深め、読書活動の推進が子どもが健やかに成長し自ら考え課題解決でき、自立した人生を送る手助けになることを目的として、我孫子市子どもの読書活動推進計画を策定します。	図書館
---------------------	--	-----

重点施策 2. スポーツの振興

(1) スポーツ施設の管理・整備と民間施設等の活用

- スポーツ施設の適正な維持管理
- 民間スポーツ施設の活用や近隣市施設の相互利用の推進

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
市民体育館庭球場改修工事	市民体育館庭球場の砂入り人工芝の全面張替えを行います。	文化・スポーツ課
市民体育館サブアリーナ棟屋根等改修工事	市民体育館のサブアリーナ棟の屋根について老朽化が著しいためカーバー工法で改修工事を行います。また、外壁やシーリングについても劣化の著しい箇所について改修工事を行います。	文化・スポーツ課
取手市とのスポーツ施設の相互利用	市民カードの提示で取手市のスポーツ施設を市民料金で使用できます。市民カードは、教育委員会、市民体育館、市民課窓口、各行政サービスセンターで作れます。	文化・スポーツ課

(2) 生涯スポーツの推進

- スポーツ推進委員と連携した総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- 生涯スポーツを支えるスポーツ指導者の養成

今年度の主な事業

事業名	内 容	担 当
総合型地域スポーツクラブ連絡交流会	市内に6つある総合型地域スポーツクラブの交流を行っています。共通のイベント開催や各クラブが抱えている課題について意見交換をしています。	文化・スポーツ課
スポーツ指導者養成講座開催	日本スポーツ協会の公認資格の取得とともに我孫子市独自の講義を交えて指導者養成講座を開催します。	文化・スポーツ課

(3) スポーツを楽しむ機会の充実

○市民が気軽に参加できるスポーツイベント等の開催

今年度の主な事業

事業名	内 容	担 当
市民体育大会	我孫子市体育協会加盟の各競技団体が市民体育大会を開催します。	文化・スポーツ課
チャレンジスポーツフェスタ	10月の第1土曜日に我孫子市民体育館を中心に開催します。様々なスポーツの体験を通して市民のスポーツ活動の振興につなげます。また、今年度はパラリンピック競技でもあるシッティングバレーの選手を招き体験してもらいます。	文化・スポーツ課
千葉県民体育大会	なぎなた競技の千葉県民体育大会を我孫子市民体育館で開催します。	文化・スポーツ課
大人のスポーツテスト	11月17日に市民体育館で大人を対象にスポーツテストを開催します。学校で行なわれるスポーツテストの大人版です。	文化・スポーツ課
リレーマラソン「うなぎちカップ」	11月18日に手賀沼親水広場特設コースで5時間リレーマラソン大会を開催します。同時に親子ランなど子どもたちも参加できる種目も行います。	文化・スポーツ課
新春マラソン大会	1月第4日曜日に湖北台中学校を中心に開催します。	文化・スポーツ課

地域スポーツフェスタ	我孫子東地区、中央地区、西地区の小学校を会場にスポーツ推進委員会を中心とした実行委員会で開催します。地域のスポーツクラブの協力を得て様々なスポーツを身近な場所で体験できるイベントです。	文化・スポーツ課
ボールゲームフェスタ	3月3日に日本トップリーグ連携機構との共催で小学生を対象に開催します。1年生から3年生は親子でボールを使って遊ぶことの楽しさを体験、4年生から6年生は、フットサル、バスケットボール、ソフトボール、ラグビーの4種目を体験します。	文化・スポーツ課

重点施策3. 文化芸術活動への支援と地域文化の継承

(1) 文化芸術活動への支援と環境整備

- 共催及び後援事業による文化芸術活動の充実
- 既存施設の効率的利用の促進
- 新たな大規模ホールを含めた文化施設の調査研究

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
文化祭及び文化芸術団体の育成・支援	市民の文化芸術活動普及のため、市民文化祭を開催し、多くの市民参加を促します。また、市民コンサートの開催や、文化芸術活動団体の充実と資質の向上及び文化芸術の普及を図るため、事業の共同主催や後援を実施し、団体の活動を支援します。	文化・スポーツ課

(2) 新たな文化芸術活動の創出

- 文化芸術活動や団体に関する情報の発信
- 文化芸術活動にふれる機会や参加する機会の充実
- 我孫子の自然や風土をいかした新たな活動への支援

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
文化芸術自主事業	市民の鑑賞及び参加意欲を高めるための事業として「フレッシュコンサート」「寄贈作品展」「子どものための舞台鑑賞事業」等を実施します。	文化・スポーツ課

めるへん文庫事業	子ども達が創作活動に親しみ、豊かな感性を育むことを目的とした「めるへん文庫」事業を実施します。	文化・スポーツ課
----------	---	----------

(3) 生活文化・郷土芸能の保存と継承

- 生活文化や郷土芸能の聞き取りや現地踏査などの調査・研究
- 生活文化や郷土芸能の継承

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
郷土芸能祭	市内に伝承されている里神楽やお囃子などの郷土芸能を市民に普及するとともに後継者の育成を図るため郷土芸能祭を実施します。	文化・スポーツ課

(4) 歴史的・文化的遺産の整備・活用

- 指定文化財制度や登録文化財制度による文化財の保存・活用
- 手賀沼文化拠点整備計画に基づく整備・活用の推進

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
旧井上家住宅の保存と活用	市指定文化財である旧井上家住宅の二番土蔵の保存整備工事が7月末に完了しました。引き続き邸内の部分公開・イベントを行い、文化財的価値の認知向上を図ります。	文化・スポーツ課
手賀沼文化拠点整備計画の推進	平成30年度の後期計画終了までソフト事業の継続と全体業務進行管理を継続するとともに、有利な補助制度を活用し、ハード整備事業の推進を図るよう各課調整します。	文化・スポーツ課
白樺文学館・杉村楚人冠記念館・旧村川別荘の活用	白樺文学館・杉村楚人冠記念館で企画展・講演会を開催して我孫子の歴史と文化について認知向上に努めるとともに、旧村川別荘と連携し、大正から昭和初期にかけて花開いた創造的文化の歴史を体感できる空間づくりを進めます。	文化・スポーツ課

(5) 埋蔵文化財や歴史資料の調査・研究

- 埋蔵文化財や歴史資料に関する調査・研究の推進
- 埋蔵文化財や歴史資料に関する報告書・資料集等の刊行

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
埋蔵文化財発掘調査	市内の埋蔵文化財が開発等で損壊される場合、事前に発掘調査を実施して記録保存を実施します。	文化・スポーツ課
発掘調査報告書の刊行	市内における埋蔵文化財発掘調査に伴う発掘調査報告書を刊行するとともに、補助金を活用して重要遺跡である下ヶ戸貝塚の発掘調査報告書を刊行します。	文化・スポーツ課
文化財報告書の刊行	市内における文化財施設に所蔵されている資料の調査を文化財報告書として刊行します。	文化・スポーツ課

(6) 歴史的・文化的遺産に関する情報発信の拡充

- 歴史的・文化的遺産を公開する場や機会の確保
- 地域の歴史や文化に親しめる環境づくりの推進

今年度の主な事業

事業名	内容	担当
文化財展の開催	発掘調査で出土した埋蔵文化財および市指定文化財を宣伝するための文化財展を開催します。開催に当たってはより多くの市民に知ってもらうよう、寄贈作品展・市民コンサートと合同で開催します。	文化・スポーツ課
文化財施設を活用した連携イベントの開催	白樺文学館、杉村楚人冠記念館、旧村川別荘、旧井上家住宅を活用し、市内小中高や市民団体と連携したイベントを開催し、文化財の周知に努めます。	文化・スポーツ課

5. 資料

(1) 我孫子市学校教育の重点

平成 30 年度 我孫子市学校教育の重点

「生きる力」の育成

我孫子市教育委員会

基本方針

豊かな心の育成

確かな学力の育成

健やかな体の育成

目 標

- ① 議論する道徳教育、人権教育の充実
- ② 人間関係づくりを基盤にしたグループ学習、体験的学習、学習集団づくり
- ③ 主体的な学びを支える学級経営
- ④ いじめ防止対策の充実
- ⑤ 校内教育相談体制の確立
- ⑥ 不登校対策の強化
- ⑦ 特別支援教育の充実
- ⑧ 情報モラル教育の推進

- ① 基礎・基本的な知識・技能の習得
- ② 思考力・判断力・表現力の育成
- ③ 主体的に学習に取り組む態度の育成
- ④ 英語・英語活動の推進によるコミュニケーション能力の育成
- ⑤ 理数教育の充実
- ⑥ 学校図書館活用の推進
- ⑦ ICT 教育の推進

- ① 学校体育の充実
- ② 食育・健康教育の推進
- ③ 学校安全のための指導体制づくり
- ④ 防災教育の充実
- ⑤ 子どもたちの安全のための組織の充実

具 体 的 な 取 組

- ① 道徳の教科化に伴う授業展開の工夫
 学び合う授業研究の推進
 Q-U 検査・アンケート調査の活用によるいじめ・不応等々の早期発見・解消
- ② 豊かな人間関係づくり実践プログラムの推進
- ③ チームによる生徒指導の支援
- ④ いじめ防止対策推進条例に基づく体制整備
 いじめ・悩み相談ホットラインの活用
- ⑤ 年2回の巡回事業の活用
 関係機関との連携による教育相談
- ⑥ 不登校対策校内組織の運営支援
 心の教室相談員やヤング手賀沼との連携
 療育教育システム連絡会の充実
- ⑦ 学級支援員の配置と個々の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- ⑧ 体系的・実践的な情報モラル教育の実施

- 指導過程・学習形態の研究支援
 主体的・対話的で深い学びの推進
- ① 言語活動を取り入れた授業づくり
- ② 「指導と評価の一体化」の推進
- ③ ユニバーサルデザインの視点による全員がわかる授業づくり
 少人数授業や個に応じた指導の充実
- ④ ALT 派遣、校内体制づくり
- 英語・英語活動の学習支援
- ⑤ 課題解決型の授業推進
- 理数教育支援員の配置
- ⑥ 学校図書館の整備と効果的な活用
- 市民図書館との連携
- ⑦ ICT 機器の活用と ICT 教育支援員の配置による学習支援

- 体力・運動能力調査結果及び運動特性を踏まえた体系的な指導の工夫
- ① 部活動等を通じた、個性を伸ばすための支援
- 学校給食を活用した食育の推進
 給食食材・メニュー等の工夫
(地元農産物の学校給食への積極的活用)
- ② 口腔衛生指導の推進
- ③ 交通安全教室の実施
- ④ 危機管理マニュアルの改善と活用
- ⑤ 子ども 110 番の設置、少年指導員によるパトロールの実施

次代を担う教職員の育成（研修体制・内容の見直し）

- ミドルリーダー層・初期層教員（1年目～5年目）の資質向上を目指した研修の充実
- チームで課題解決する手法やカリキュラム・マネジメントに関する研修の充実

義務教育9年間で目指す『15歳の姿』の共有

「コミュニケーション力」「チャレンジ力」「豊かな心」

小中一貫教育の推進

基盤となる「我孫子市教育施策」

【目標】子どもの創造性と自主性をはぐくむ教育の充実

学校教育の充実	地域に根ざした教育の充実	子どもの成長・自立への支援
<ol style="list-style-type: none"> ① 心身ともに健康な児童・生徒の育成 ② 確かな学力の育成 ③ 小中一貫教育の推進 ④ 安心して快適に学べる学校・学習環境の充実 ⑤ 信頼される学校づくり、教職員の意識高揚を図る職場づくり 	<ol style="list-style-type: none"> ① 地域全体で学校教育を支えるしくみづくり ・中学校区を核とした学校支援地域本部の推進 ・キャリア教育の充実 ・高校・大学との連携による学習支援 ② 地域に密着した学習の場の提供 ③ 我孫子の資源を活用した学習の推進 	<ol style="list-style-type: none"> ① 教育相談・支援体制の充実 ② 幼保小連携の推進 ③ いじめ・非行防止対策の推進 ④ 子どもらとの連携強化
学校・家庭・地域の連携		
<ol style="list-style-type: none"> ① 家庭の教育力向上とその充実を図るための支援（学習習慣の確立） ② 地域、保護者、近隣大学、市内事業所、社会教育と連携した学習支援や職場体験学習の充実など多様な教育機会の創出 	<ol style="list-style-type: none"> ③ 地域や保護者の意見を学校教育に反映させる仕組みづくり（学校評議員制度、学校評価の活用） ④ ふるさと我孫子が持つ歴史的・文化的な地域資源の積極的な活用（Abi-ふるさとカリキュラムの推進） 	

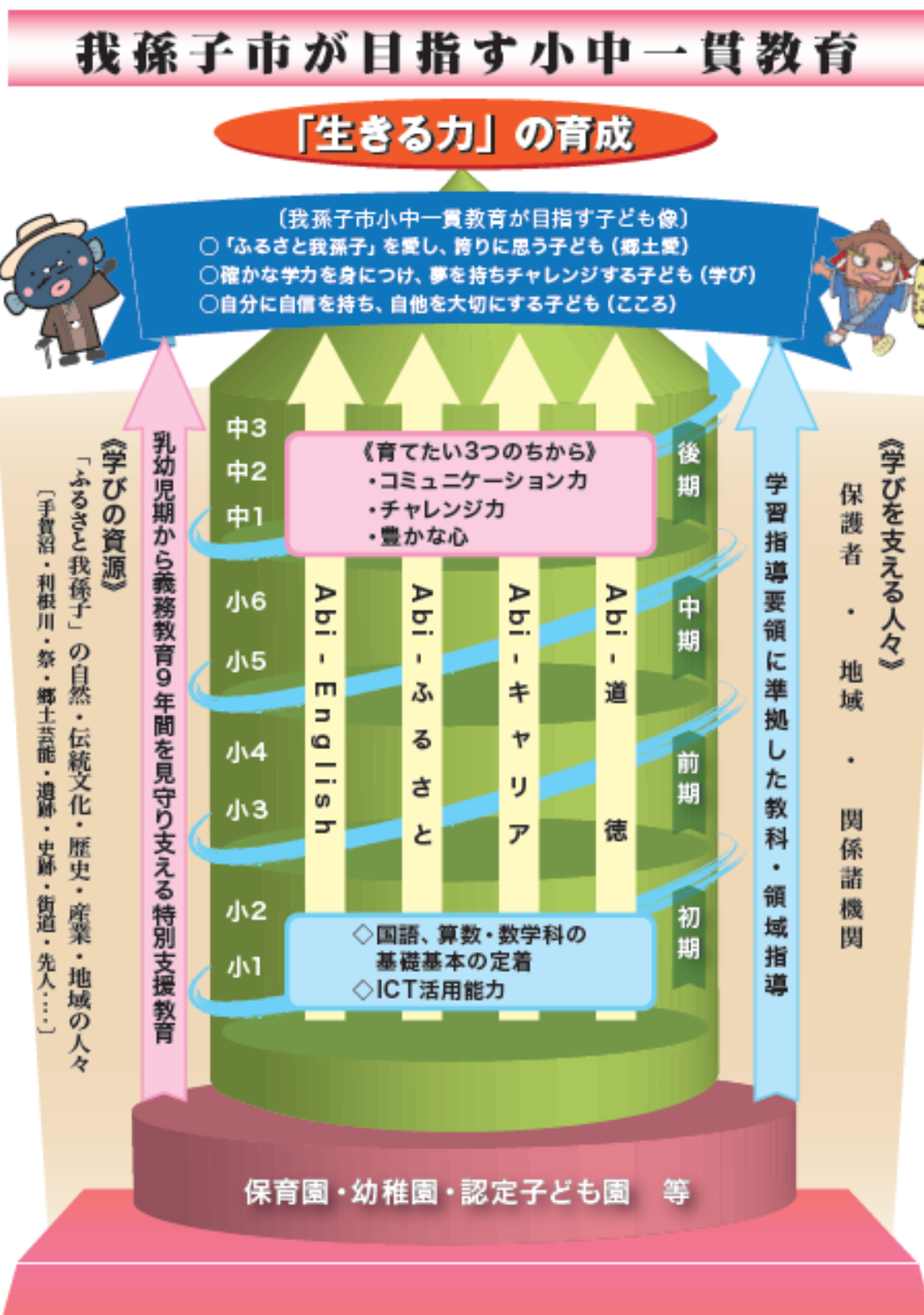
(2) 我孫子市の「学力」の定義

我孫子市の「学力」の定義

体験活動を通して、自ら見つけた課題を
解決するために必要な「知識・技能と理解する力」、
それらを活用し「思考・判断・表現する力」に、
「学習意欲」を含めた資質や能力



(3) 我孫子市が目指す小中一貫教育



(4) 市立小中学校一覧

小学校（13校）

学 校 名	所 在 地	電 話	開 校 年
我孫子第一小学校	寿1丁目22番10号	04-7184-0415	明治6年
我孫子第二小学校	下ヶ戸610番地	04-7184-1722	明治22年
我孫子第三小学校	柴崎台3丁目3番1号	04-7184-1171	昭和24年
我孫子第四小学校	白山3丁目2番1号	04-7182-6151	昭和25年
湖北小学校	中里95番地	04-7188-1002	明治7年
布佐小学校	布佐1217番地	04-7189-2545	明治6年
湖北台西小学校	湖北台8丁目17番1号	04-7188-1123	昭和44年
高野山小学校	高野山198番地	04-7183-3238	昭和50年
根戸小学校	つくし野4丁目17番1号	04-7184-3988	昭和51年
湖北台東小学校	湖北台4丁目3番1号	04-7187-2951	昭和52年
新木小学校	新木1460番地	04-7187-1051	昭和55年
並木小学校	つくし野7丁目30番1号	04-7184-3151	昭和56年
布佐南小学校	布佐平和台5丁目1番1号	04-7189-2132	昭和58年

中学校（6校）

学 校 名	所 在 地	電 話	開 校 年
我孫子中学校	高野山537番地	04-7182-5191	昭和22年
湖北中学校	古戸300番地	04-7188-2042	昭和22年
布佐中学校	布佐1301番地	04-7189-2426	昭和22年
湖北台中学校	湖北台6丁目9番1号	04-7188-2120	昭和44年
久寺家中学校	つくし野171番地	04-7184-3987	昭和51年
白山中学校	白山3丁目7番3号	04-7184-1893	昭和54年

(5) 学校紹介

児童数、学級数、校地面積は平成30年5月1日現在
教職員数は平成30年6月1日現在

我孫子第一小学校



＝校章の由来＝

松と亀を形どり永久の発展を象徴している。

◇児童数	546人
◇学級数	22学級
◇教職員数	42人
◇校地面積	20,097㎡

住所 寿1-22-10
電話 7184-0415
開校 明治6年
校長 山口 祐子

【教育目標】

「豊かな心で、たくましく生きる子どもの育成」

校門を入ると、玄関まで長い坂道が続いています。そのかたわらには、いつもきれいな花が、いっぱい咲き誇っています。美しい環境は「心豊かな子どもたち」を育てます。

さて、そんな花や木がいっぱいの本校は、今年で創立146周年を迎えます。

教育目標達成のために、合言葉「チャレンジ！！一生懸命がかっこいい」を掲げ、今年度は特に次の点に力を入れ学校運営をしていきます。

- 1 学校を心地よい居場所にする
- 2 いじめ問題に速やかに対応する
- 3 主体的・対話的で深い学びの研究を更に推進する
- 4 異学年縦割り交流活動を充実する
- 5 特別支援教育を教育の柱とする
- 6 開かれた学校を推進する
- 7 信頼される学校（教職員）を目指す

我孫子第二小学校



＝校章の由来＝

我孫子市の我の1字を三角形でデザインし、下の2本線は、第二小学校の二の文字を表している。三角形は筑波山を、2本線の上は手賀沼を下は利根川を表し、何れも校歌に歌われている。

◇児童数	420人
◇学級数	20学級
◇教職員数	38人
◇校地面積	22,322㎡

住所 下ヶ戸610
電話 7184-1722
開校 明治22年
校長 鍵山 智子

【教育目標】

「気力たくましく、
思いやりと自省心のある
人間性豊かな子どもの育成」

＝地域に根ざして＝

校門の階段を登ると、大きな楠が2本大空にそびえ立ち、モダンな木造校舎とともに出迎えてくれます。

動物王国にはヒツジやヤギ、ふれあい王国には、ウサギがいて、子ども達は、毎日の餌やりや清掃など、飼育活動に取り組んでいます。

また、学校水田での米作りや谷津田での自然観察など、地域の先生の指導・助言を受けながら体験活動を行っています。

このように、地域に根ざした教育活動を目指して二小学校づくり協議会、及びPTA学校協力隊より提言をいただき、地域・保護者と共に歩む学校づくりを進めています。

地域に支えられている我二小を誇りに思うと共に夢を持ち、実現に向かって努力する子ども達の育成を目指して日々の教育活動に励んでいます。

我孫子第三小学校

=校章の由来=



校歌にも歌われ本校の象徴ともいえるこぶしの葉3枚を三方に配し、知徳体バランスのとれた児童の姿を表す

◇児童数	704人
◇学級数	29学級
◇教職員数	55人
◇校地面積	16,463㎡

住所 柴崎台3-3-1
電話 7184-1171
開校 昭和24年
校長 鈴木 与志実

【学校教育目標】

『明るい子、優しい子、頑張る子 の育成』

【めざす学校の姿】

- ・楽しく学習できる学校
- ・児童、保護者、地域から信頼される学校
- ・明るく清潔な学校

【めざす児童の姿】

- ・挨拶ができる礼儀正しい子
- ・心優しく感謝の気持ちを持てる子
- ・よく考え最後までやりぬく子
- ・労を惜しまず働く子
- ・健康でたくましい子

多くの卒業生が巣立ち、地域の方々に支えられながら、本校は今年で創立70周年を迎えます。この地に栄える伝統校としての誇りを持ち、これからの未来に向けて、「社会の変化に対応できる、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かでたくましい児童」の育成に努めて参ります。

また、「挨拶・返事・掃除」を児童の基本的な生活習慣と位置づけ、我孫子第三小学校の良き伝統として引き継ぎ、より発展させていきます。

我孫子第四小学校

=校章の由来=



我孫子第四小学校の「四」の文字を中心に据え、まわりにデザイン化した我孫子の「我」を配している。

◇児童数	865人
◇学級数	31学級
◇教職員数	59人
◇校地面積	14,536㎡

住所 白山3-2-1
電話 7182-6151
開校 昭和25年
校長 吉川 廣一

【教育目標 基本目標】

『意欲を持ち 自分を磨く たくましい子』

《合い言葉》(重点目標)

よく遊び よく学び みんな仲良く

(目指す児童像)

- ・みんなで仲良く遊ぶ子
- ・よく考え自ら学ぶ子
- ・明るく思いやりのある子

○ 四小では、健やかな体と豊かな心を持った子どもを育成するために、感性・知性・理性の教育に力をいれています。伝統の「月例リレー」を始めとする体力づくりや命を考える月間・異学年交流を進める「四小タイム」などを設定して、たくましい体力や豊かな心を育むことを大切にしています。

○ 児童は「ハイという返事」・「あいさつ」・「ありがとう、ごめんなさい」・「かさ・くつをそろえる」を四小児童の基礎・基本として、明るく元気に過ごしています。

○ 学習面では、「体験活動を重視し、系統性を生かした学習指導の在り方」～思考力・表現力の向上～をテーマに、生活科・理科教育の充実を図ります。

・今年度は、ポートフォリオ、ルーブリック評価を継続し、日常の教科指導への活用を図ります。授業研究は生活科、理科を中心に行います。

・どの学年にも関連あるスケッチの取り方や観察の仕方を全校統一して行います。

・書く(記録)指導の工夫を重点として研究を進めます。

湖北小学校



＝校章の由来＝

湖北小学校の学区は開校当時、純農村地域であり、校章はその特徴をとって、豊かな実りを象徴する金色の稲穂になっている。

◇児童数	355人
◇学級数	16学級
◇教職員数	34人
◇校地面積	23,977㎡

住所 中里 9 5
電話 7 1 8 8 - 1 0 0 2
開校 明治 7 年
校長 岸 本 光 司

【教育目標】

「やさしく、かしこく、たくましい子どもの育成」
めざす児童像として、「思いやりのある子」「考える子」「たくましい子」を掲げ、「知・徳・体」のバランスのとれた教育計画に基づき、『一人一人を生かす教育と節度のある学校生活の推進』をめざして取り組んでいます。

「思いやりのある子」では、青空学級（異年齢集団）を編成して、遊んだり行事に取り組んだりする中で、お互いを思いやり、助け合うことを学んでいます。

「考える子」では、①基礎的・基本的な学習内容を身につけさせる ②学習への意欲や学習習慣の形成 ③自ら学び、自ら考える力の育成 を柱として、授業や毎日の日常生活を計画的・継続的に取り組んでいます。

全教科で「学び合い」を積極的に取り入れ、思考し表現する力を育てています。

「たくましい子」では、なわとびや持久走などの体力づくりに力を入れています。また、生涯にわたって健やかな心身と豊かな人間性を育てていくために「食育」の推進にも取り組んでいます。

本校は、開校以来地域の方々を支えられながら、今年度は、創立144周年を迎えることになりました。

布佐小学校



＝校章の由来＝

豊かな水を湛える利根川や手賀沼と、はるかなる筑波の雄姿の中で学べる布佐小健児の勉学の精神を三つのペン先に表す。

◇児童数	204人
◇学級数	11学級
◇教職員数	30人
◇校地面積	18,454㎡

住所 布佐 1 2 1 7
電話 7 1 8 9 - 2 5 4 5
開校 明治 6 年
校長 成 島 敏 恭

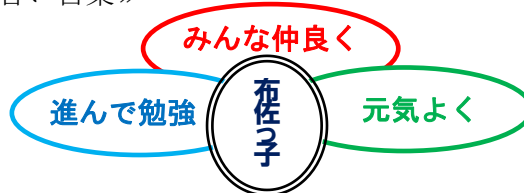
【教育目標】

「心豊かにたくましく生きる児童の育成」

《めざす児童像》

- よく考え自ら学ぶ子
- 明るく思いやりのある子
- 気力たくましく元気な子

《合い言葉》



明治6年の創立から今年で146年目を迎えています。宮作台の静かな自然あふれる環境の中で、児童が夢を育みながら充実した学校生活を送れるよう、創意工夫を生かした活力のある学校づくりをめざしています。また、地域の伝統文化を大切に、学校と地域が一体となった教育の推進に努めていきます。

総合的な学習の時間を中心として、地域学習「布佐学習」に取り組むとともに、布佐中学校区3校で開発した『ふさカリキュラム』に取り組み、郷土の歴史・文化・人物等を学習しています。この成果を基盤に、他の教科においても、小中一貫によるカリキュラムの開発を展開していきます。

湖北台西小学校



＝校章の由来＝

中心にペンをかたどり、そのペン先が富士の峰を表し、大空にはばたく翼が西の字を表している。

◇児童数	309人
◇学級数	16学級
◇教職員数	36人
◇校地面積	23,319㎡

住所 湖北台 8-17-1
電話 7188-1123
開校 昭和44年
校長 三好 一彦

【教育目標】

- ◇確かな学力を持つ子
- ◇優しい心を持つ子
- ◇健康でたくましい子

～自ら課題を見つけ、解決に向けて判断し、
決断し、実行できる子どもの育成～
合言葉『西っ子素直に一生懸命』

平成30年度の重点

- 1 学力の定着をめざす
- 2 体力向上に努める
- 3 規則正しい生活習慣の確立
- 4 行事に一生懸命に取り組む

昭和44年10月1日湖北台団地建設に伴い、湖北小学校の教室を借用して開校しました。

言語活動を通して、自分の思いや考えを伝え合える子の育成とともに、基礎学力の向上を図るために、音読・漢字・計算練習など日常的に継続指導を行っています。

また、年5回実施の学習参観、西っ子歌声発表会などの行事を公開し、地域の方々に子ども達の日頃の様子や様々な活動を見ていただくとともに、学校支援地域本部事業による学校支援ボランティアの方々からの協力を得て、地域とともに歩む学校づくりを目指しています。

高野山小学校



＝校章の由来＝

けやきの葉を図案化し、健康・英知・愛情・協力・根気・親和が六つの葉に込められている。

◇児童数	621人
◇学級数	25学級
◇教職員数	59人
◇校地面積	18,059㎡

住所 高野山 198
電話 7183-3238
開校 昭和50年
校長 金子 博之

【教育目標】

(基本目標) 自立
(全校の合い言葉) なかよく 進んで 元気よく

本年度の重点目標

- 〈説明責任を果たす〉
- 〈いじめのない学級づくり〉
- 〈学力向上〉

○地域社会の中で信頼される、安全で楽しい学校づくりをめざしています。そのためにも全校の合い言葉を大切にしています。

○「豊かな読みの力の育成」の一環として、毎日朝読書の時間を設定しています。読書ボランティアの方の協力を得て、子ども達の読書に対する興味関心を喚起し読書に親しむ態度の育成を目指しています。

○子ども達の興味関心を生かし、個人の可能性を伸ばすための部活動が盛んです。個々の目標に向けて日々、スキルアップができるよう頑張っています。

○児童にとって学ぶ喜びのある算数の授業づくりを通して、疑問を持ち、課題に向かって45分間主体的に学ぼうとする子どもを育てます。

根戸小学校

＝校章の由来＝



根戸城の高台を表す三角形に、すぎなとつくしが囲み、逞しくすくすく伸びる児童の姿を願っている。

◇児童数	952人
◇学級数	35学級
◇教職員数	63人
◇校地面積	21,473㎡

住所 つくし野4-17-1
電話 7184-3988
開校 昭和51年
校長 野口 恵一

【教育目標】

よく遊び、よく学び、思いやりのある子
～お互いを認め合う学校～

- ・**ね** ねばり強く、最後までやりぬく子
- ・**ど** 努力し、自分の考えを持てる子
- ・**つ** 強い体をつくれる子
- ・**こ** 心豊かで、思いやりのある子

本校は、学校に隣接している根戸森、デイケアサービスセンター、幼稚園、保育園などと積極的に交流し、地域に開かれた特色ある学校づくりを進めてきました。また、体育の指導に関する研究にも力を入れています。

併せて学校支援地域本部事業を活用し、地域の人材を学校のニーズに応じて、学校教育に協力してもらうシステムを作り、人的・物的な交流を通して、地域との絆がより強いものとなるよう、地域とともに歩む学校づくりを推進しています。

約1000名の児童数を有する本校は、県内屈指の大規模校としての存在感を持ちつつ、「さわやか挨拶」「一生懸命清掃」「てきぱき行動」を伝統とし、元気で心優しい「根戸っ子」児童の育成に努めています。

湖北台東小学校

＝校章の由来＝



手賀沼の波を基底に、上に小を中央にペン、左右に鳥のはばたき、未来へ向かっての明るさを表現している。

◇児童数	301人
◇学級数	16学級
◇教職員数	35人
◇校地面積	28,546㎡

住所 湖北台4-3-1
電話 7187-2951
開校 昭和52年
校長 鴨下 隆

【教育目標】

「活力のある学校」

～ 精一杯遊び、学び、互いのことを考え
思いやることができる、子どもの育成 ～

<経営の重点>

- (1) 基礎的・基本的な内容の確かな定着と個に応じた学習指導の充実
- (2) 評価活動を重視した指導法の改善
- (3) 道徳の教科化を視野に入れ、よりよく生きる基礎となる「心づくり」を育てる道徳教育の実践
- (4) “「ひ・が・し」”の実現“「はい」の返事”“挨拶”“靴を揃える”の徹底と日常的な実践
- (5) 保護者との連携を図りながら行う、共感的な児童理解と自己実現を図る生徒指導の機能を生かした規律ある授業
- (6) 食育健康安全に対する自己管理能力の育成と、基礎体力の向上及び外遊びの励行
- (7) 日常の言語活動の充実、主体的・協働的に学ぶ学習の実践
- (8) 校内研究・研修の充実と教師の自己研鑽
- (9) 幼稚(保育・こども)園・小学校・中学校の連携と授業公開や参観による積極的交流
- (10) 小中一貫教育を視野に入れた教科担任制の導入など様々な取り組み
- (11) 教育活動内容の広報の充実と、教育活動協力者の効果的かつ計画的活用
- (12) 潤いのある環境づくりと、学校教育施設充実・効果的活用
- (13) さわやかタイムの充実
- (14) 社会教育活動への積極的な参加の奨励
- (15) 子どもとふれあう時間の確保と課題のある児童に対する丁寧な対応

<東小の合い言葉>

「ひ・が・し」

人を励まし応援、がんがん挨拶、静かに聞く

新木小学校

＝校章の由来＝



市木、けやき三葉に、本校教育目標強い子、考える子、明るい子への願いを込め表した。

◇児童数	474人
◇学級数	22学級
◇教職員数	42人
◇校地面積	27,496㎡

住所 新木1460
電話 7187-1051
開校 昭和55年
校長 横山悦子

【教育目標】

心豊かでたくましく自立する子

(合い言葉)

あらきつ子 いい声 いい顔 いい姿 (汗と涙)

(行動目標)

- 心身共に健康でたくましい子 (強い子ども)
- よく学び、最後まで努力する子 (考える子ども)
- よく働き、助け合う子 (助け合う子ども)

本校は、北に利根川を臨む小高い丘の上に位置し、周囲には田や畑が残る自然豊かな環境の中にある。

学区にはJR成田線の新木駅をかかえ、駅の南口には新しく開発された住宅地が広がり児童数も増加した。

本校では以前から、地域の特性を活かし、千葉県立我孫子特別支援学校や子ども発達センター等、近隣福祉施設との交流を行ってきた。平成18年度に県の福祉教育推進校に指定されたことを契機として、地域との交流活動を推進している。また、平成26年度より再度福祉教育推進校に指定され、平成28年度には実践発表を行った。

本年度より「聞いて、考え、伝え合うことのできる子の育成」を研究テーマに、国語科を中心として主体的で対話的な深い学びができるように実践していく。さらにこの実践を通して、コミュニケーション能力を身に付ける学習指導の工夫・改善に努めていく。

並木小学校

＝校章の由来＝



けやきの花を図案化、花びらで意志を表し、おしべ、めしべで成長の永遠性を、左右対称により博愛と和を象徴する。

◇児童数	398人
◇学級数	16学級
◇教職員数	34人
◇校地面積	26,342㎡

住所 つくし野7-30-1
電話 7184-3151
開校 昭和56年
校長 小椿清隆

【教育目標】

—21世紀を生き抜く並木っ子—

『心やさしく・かしこく・たくましい
子どもの育成』

児童像

ななかよし みんなが やさしいハートの 並木っ子
み自ら進んで 学ぶパワーの 並木っ子
き気持ちも 体も ファイトいっぱい 並木っ子

本校は、北に利根川、東に電力中央研究所の小高い丘に囲まれた、自然豊かな環境にある。

学区は、国道6号線をはさんで、大きく並木地区とつくし野地区にわけられる。

平成27年度より「算数科」を共同研究の教科とし、校内研究を進めている。めざす児童像の「自ら進んで学ぶパワーの並木っ子」を受け、「生き生きと主体的に学ぶ児童の育成」を目指している。児童一人ひとりが、学習課題を自分の「問い」としてとらえ、自分の考えを持って討論しながら、解決策を探っていく授業展開を実践している。それは、たくましく「生きる力」にもつながり、すべての学習や生活に生かしていけるととらえている。教職員一同、子どもたち自身が課題意識を持って、問題解決に取り組めるように積極的に授業研究会を行い、授業改善に努めている。

布佐南小学校

＝校章の由来＝



けやきの葉を図案化したもので三枚の葉はそれぞれ、豊かな心・健やかな身体・知識を表し中心は人を表す。

◇児童数	161人
◇学級数	8学級
◇教職員数	27人
◇校地面積	25,572㎡

住所 布佐平和台5-1-1
電話 7189-2132
開校 昭和58年
校長 酒井 一憲

【教育目標】

『心豊かで 実践力のある子』

スローガン「笑顔と活気あふれる南小」
「少数精鋭」

めざす児童像 ⑦ 自ら学ぶ子
⑧ なかよく助けあう子
⑨ みがききたえる子

学区は、豊かな自然環境に恵まれるとともに、伝統文化を継承してきた地域といえる。

児童は、異学年との親密な交流があり、様々な場面で力を合わせて一つのことを成し遂げている。教職員は、一人一人の児童の理解に努めながら、日々の教育実践に取り組んでいる。

郷土の歴史や文化、人物の業績などの学習を通して郷土愛を育んだり、中1ギャップを解消したりすることなどを目指し、分離型の小中一貫教育を行っている。

我孫子中学校

＝校章の由来＝



我孫子市の我と中学校の中を形どり、我孫子中学校を表している。

◇生徒数	914人
◇学級数	31学級
◇教職員数	65人
◇校地面積	33,010㎡

住所 高野山537
電話 7182-5191
開校 昭和22年
校長 杉本 明

【伝統の継承と発展】

我孫子中を訪れると、その緑の豊かさに驚くでしょう。正門から玄関まできれいに掃かれたアプローチはさながら都市公園の散歩道の趣があります。朝夕にランニングする生徒たちの元気な挨拶、教室から流れる歌声も緑の中の学び舎と一体化し、美しい一枚の絵を描き出します。「清掃」「挨拶」「歌声」は本校の伝統として生徒たちに受け継がれています。

【教育目標】

「社会の変化に主体的に対応し、夢と希望を持って自ら学び、豊かな心でたくましく生きる人間の育成をめざす」

- (1) 知恵と体力を備えた生徒
- (2) 自制心があり、情操豊かな生徒
- (3) 勤労を尊び、社会に奉仕することのできる生徒
- (4) 夢と希望を持ち、努力する生徒

の育成を目指し、「個に応じたわかる授業」「思考力、判断力、表現力を高める授業」づくりを進めています。

さらに、家庭と連携したきめ細かな生徒指導、一人一人の生徒にとって「居場所のある学校」を構築する努力をします。学校改善を目指した生徒の自主的活動を大切にしています。

文科系8、運動系16を数える部活動は生徒たちに多くの選択肢を与え、各部とも盛んな活動をしています。

湖北中学校

＝校章の由来＝



中央に湖北中と力強く書かれ、それを大地の恵みを象徴する稲穂がやさしくつつみこみ、限りない向上をめざす。

◇生徒数	417人
◇学級数	13学級
◇教職員数	33人
◇校地面積	36,907㎡

住所 古戸300番地
電話 7188-2042
開校 昭和22年
校長 市之瀬 啓之

【学校教育目標】

『自主貢献』

自主的に判断・行動し、助け合える生徒の育成

【合い言葉】

「一生懸命が美しい！一生懸命がかっこいい！
一生懸命を楽しもう！」

「日本人としての品位と集団生活の大切さ・楽しさ、国際社会を生き抜く表現力の育成」

輝ける場、 自学の場、 満足できる場

達成感の場、 安心の場、 礼節の場

感動の場、 自立の場、 鍛錬の場

校門を入ると、「こんにちは」と生徒の明るいあいさつの声が迎えてくれます。本校では、すべての学習、生活の場で「あいさつ・思いやり・感謝の心」の育成に努めています。

布佐中学校

＝校章の由来＝



中央にカナ文字で「フサ中」を形どり、周囲に瑞穂をあしらひ健やかな成長と実りを象徴したものである。

◇生徒数	219人
◇学級数	8学級
◇教職員数	29人
◇校地面積	20,588㎡

住所 布佐1301
電話 7189-2426
開校 昭和22年
校長 石井美文

【教育目標】

本校は、戦後の教育改革である六・三制の実施に伴い地域の熱い期待を担って昭和22年5月に創立されました。この間、布佐の教育に対する高い関心と温かい風土の中で生徒・職員・保護者が一体となり、この地域の教育の中心として大きな成果を上げてきました。卒業生も七千余名の多きにのぼり、現在さまざまな分野で活躍をしています。

また、地域の教育機関としては、歴史と文化のある布佐の地で、地域の新しい時代を切り拓く創造的な思考力と共生する態度を持つ人材を育てるため「自ら学び、共によりよく生きる生徒の育成」を目標に日々努力しているところです。

地域の方々の協力を得て進めている「布佐タイム」(総合的な学習の時間)は、毎年充実したものとなり、地域の方々を講師とし、1年生から3年生まで、12の講座に分かれて、地域と共にある学校づくりを推進しています。また、生きる力を育てるため、体験学習の一環として就職体験学習(2年生)を行っています。地域を知り、地域の方々に布佐中の取り組みを知っていただくとともに、自分の将来を考える絶好の機会にもなっています。

「みんなで創る地域の小中一貫校」を合言葉に、学区小学校や近隣高校とも連携し、地域に根ざした学校づくりに邁進しております。平成26年度に我孫子市の小中一貫教育推進地区に指定され、平成28年度に研究発表会を開催。小中が連携し、保護者・地域とともに地域総ぐるみで子どもを育てる我孫子市のモデルとなる小中一貫教育の実践を推進しています。

湖北台中学校

＝校章の由来＝



中央に校名の湖北と台を配し、三枚の桜の葉は校訓である品位・学力・勤労を意味している。

◇生徒数	328人
◇学級数	14学級
◇教職員数	35人
◇校地面積	29,792㎡

住所 湖北台6-9-1
電話 7188-2120
開校 昭和44年
校長 大島慎一

【教育目標】

『主体的に、より良い生き方や望ましい学習のあり方を求め実践する生徒を育てる。』

本校では、上記の学校目標のキーワードを大切にし、「地域からも認められる活力のある湖北台中学校」を今年度の目標として掲げ、全ての教育活動を通して取り組んでいます。

また、小中一貫教育の観点から「一生懸命な子」を湖北台中区のキーワードとし、学習指導・生徒指導・行事を通して交流を図り、湖北台中学校卒業時の子ども達の姿を共有しています。保護者の方だけでなく、おやじ&おふくろの会・地区社協の方を始めとする地域の方の協力を得て、社会・地域で活躍できる人材育成を目指しています。

湖北台中学校には大切にしている「合い言葉」があります。

1. 「一生懸命がかっこいい」(生徒の理想の姿)
2. 「夢は逃げない、自分が夢から逃げただけ」
(職員も生徒も諦めない)
3. 「一人の友(生徒)も置き去らじ」
(「誰一人見捨てない」という職員の姿勢・仲間を思う生徒の心)

生徒と共に、この3つの合い言葉を常に念頭に置いて教育実践を進めています。

久寺家中学校



＝校章の由来＝

戦国時代、我孫子左衛門但馬守の支城であった久寺家城にゆかりの兜を形どってデザインし、勇気を象徴している。

◇生徒数	543人
◇学級数	18学級
◇教職員数	39人
◇校地面積	26,175㎡

住所 つくし野171
電話 7184-3987
開校 昭和51年
校長 泉 忠 則

【校訓】

自学・礼節・鍛錬

＜合言葉＞

「一生懸命が かつこいい! 一生懸命が 気持ちいい! 一生懸命に感動!」

【教育目標】

21世紀を生きるたくましい力と豊かな心を持った生徒を育てる。

○重点 お互いに磨き合い成長する生徒
情操豊かで品位のある生徒

「地域に根ざした豊かな心をはぐくむ学校づくり」を目指して保護者・地域と共に、生きて働く力と体験に根ざした豊かな心を持ち、品格のある生き方のできる生徒を育てることを目標としています。

特色のある教育として、日本の伝統文化で修養する「久寺家学習」があります。地域に住んでおられる専門家の方々を学校に招聘し、2、3年生の総合的な学習の時間で、華道、茶道、書道、琴、俳句、能、空手、薙刀、剣道、三味線、折り紙、和太鼓の12コースを行っています。

その他に技術科の授業補助を行う「パソコンお楽しみ隊」の皆さん、生徒の登下校を見守っていただいている「防犯ボランティア」の皆さんの力をお借りして地域と一体となった教育をすすめています。

白山中学校



＝校章の由来＝

人としての基盤を築き、若者らしく大きな夢、希望に向かって果敢に取り組む生徒の心意気を三角構図で示している。

◇生徒数	771人
◇学級数	27学級
◇教職員数	59人
◇校地面積	27,817㎡

住所 白山3-7-3
電話 7184-1893
開校 昭和54年
校長 田 中 聡

「みがき合い・支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒をめざす」を学校教育目標に掲げ、今年で40年目を迎えます。

校歌は加瀬完先生の作詞です。この校歌の歌詩の中に白山中学校の求める姿が描かれています。

「励むや我ら師と友と」、「一人の友も置き去らじ」、「そのたくまじき忍と耐」、「世界の空を天駆けん」。

そして、目指す生徒像は、

- ・自ら、共に学ぶ生徒
- ・情操豊かで、品位がある生徒
- ・思いやり、助け合える生徒
- ・健康でたくましい生徒

白山中3つの伝統を合言葉に頑張っていきます。

- ・明るく元気なあいさつ
- ・美しく響く歌声
- ・心を磨く清掃

本年度の重点目標は次の3つです。

- (1) ブランド構築
- (2) 研究&課題
- (3) 連携推進

本年度の研修主題は、

自ら、共に学び、活用できる生徒をめざす!
～「主体的・対話的で深い学び」の実践を通して～

(6) 生涯学習施設一覧

施設名	所在地	連絡先
生涯学習センター「アビスタ」	若松 2 6 - 4	7 1 8 2 - 0 5 1 5 (インフォメーション)
公民館 我孫子地区公民館 (アビスタ内)	若松 2 6 - 4	7 1 8 2 - 0 5 1 1
湖北地区公民館「コホミン」	中里 8 1 - 3	7 1 8 8 - 4 4 3 3
図書館 アビスタ本館	若松 2 6 - 4	7 1 8 4 - 1 1 1 0
湖北台分館	湖北台 9 - 3 - 6	7 1 8 7 - 3 0 5 5
布佐分館	新々田 1 0 9 - 1	7 1 8 9 - 1 3 1 1
移動図書館	湖北台 9 - 3 - 6	7 1 8 7 - 0 9 0 9 (湖北台分館内)
鳥の博物館	高野山 2 3 4 - 3	7 1 8 5 - 2 2 1 2
市民体育館	古戸 6 9 6	7 1 8 7 - 1 1 5 5
五本松運動広場	岡発戸 1 4 3 3	7 1 8 7 - 1 1 5 5 (市民体育館)
つくし野多目的運動広場	つくし野 5 - 5 - 3 2	7 1 8 1 - 7 8 7 8
湖北台中央公園テニスコート	湖北台 7 - 5	7 1 8 7 - 1 1 5 5 (市民体育館)
湖北台中央公園野球場	湖北台 7 - 5	7 1 8 7 - 1 1 5 5 (市民体育館)
手賀沼公園テニスコート	若松 1	7 1 8 7 - 1 1 5 5 (市民体育館)
布佐下多目的広場	布佐 2 1 5 7	7 1 8 5 - 1 6 0 4 (文化・スポーツ課)
浅間前多目的広場	浅間前新田 3 3 6	7 1 8 5 - 1 6 0 4 (文化・スポーツ課)
利根川ゆうゆう公園野球場	古戸地先	7 1 8 7 - 1 1 5 5 (市民体育館)
利根川ゆうゆう公園サッカー場	古戸地先	7 1 8 7 - 1 1 5 5 (市民体育館)
少年野球場	上沼田 1 7 - 2	7 1 8 5 - 1 6 0 4 (文化・スポーツ課)
ふれあいキャンプ場	岡発戸 1 3 9 5	7 1 8 3 - 7 0 0 3
地域交流教室 我孫子第一小学校	寿 1 - 2 2 - 1 0	7 1 8 2 - 0 5 1 1 (生涯学習課)
高野山小学校	高野山 1 9 8	
湖北台西小学校	湖北台 8 - 1 7 - 1	
湖北台東小学校 (2 教室)	湖北台 4 - 3 - 1	
布佐小学校	布佐 1 2 1 7	
湖北郷土資料室	古戸 1 7 1 - 2 (湖北行政センター 2 階)	7 1 8 5 - 1 5 8 3 (文化・スポーツ課)
旧村川別荘	寿 2 - 2 7 - 9	7 1 8 5 - 1 5 8 3 (文化・スポーツ課)
志賀直哉邸跡書斎 (緑雁明緑地内)	緑 2 - 7	7 1 8 5 - 1 5 8 3 (文化・スポーツ課)
文化財整理室	布佐平和台 5 - 1 - 2	7 1 8 5 - 1 5 8 3 (文化・スポーツ課)
白樺文学館	緑 2 - 1 1 - 8	7 1 8 5 - 2 1 9 2
杉村楚人冠記念館	緑 2 - 5 - 5	7 1 8 2 - 8 5 7 8
旧井上家住宅	相島新田 1	7 1 8 5 - 1 5 8 3 (文化・スポーツ課)

(7) 我孫子市指定文化財一覧

	名称	種別	所在地	指定年月日
1	二十一仏武蔵石板碑	有形文化財	中峠 1148(天照神社)	H 7. 5.11
2	(金塚古墳出土遺物)→県指定へ			(解除)
3	仁阿弥道八作「陶製仁王像」	有形文化財	根戸 1778(妙蓮寺)	H13.10.29
4	裁縫雛形	有形民俗文化財	我孫子 1684(市教委)	H14. 7.31
5	新木東台遺跡出土 地名・人名墨書土器	有形文化財	我孫子 1684(市教委)	H15. 7. 1
6	西大作遺跡出土 地名・人名墨書土器	有形文化財	我孫子 1684(市教委)	H15. 7. 1
7	羽黒前遺跡出土 人名墨書土器	有形文化財	我孫子 1684(市教委)	H15. 7. 1
8	中里薬師堂薬師三尊像及び十二 神将像	有形文化財 (彫刻)	中里 711-4	H18. 3. 6
9	旧村川別荘	史跡	寿 2-27-9	H19. 5.30
10	古戸里神楽	無形民俗文化財	古戸地区	H20. 7.31
11	旧杉村楚人冠邸	有形文化財 (建造物)	緑 2 丁目 2208 番 1 外	H22. 1.29
12	志賀直哉邸跡書斎	有形文化財 (建造物)	緑 2 丁目 1975 番 1	H23. 3.31
13	葺不合神社本殿・拝殿 附 二の鳥居	有形文化財 (建造物)	新木 1812 番外	H24. 3.29
14	旧井上家住宅 母屋・二番土蔵・新 土蔵・旧漉場、表門・裏門 附 庭門及び両脇屋根塀、裏門両 脇屋根塀 土地	有形文化財 (建造物)	相島新田字堀前1番地	H24.12.28
15	日立精機2号墳	史跡	我孫子二丁目 1 番 88	H26.2.28
16	ヒカリモ発生地	天然記念物	岡発戸807番の一部外	H28.2.29

(8) 我孫子市教育行政年表

昭和	
30年	4月 我孫子町、湖北村、布佐町が合併して我孫子町となる。 小学校6校77学級、中学校3校31学級 我孫子第四小学校、合併に伴い児童数が急増、2部授業となる。
	5月 新生我孫子町初の教育委員会が開催される。教育指標として、①教育委員会設置目的の達成②学校教育の刷新③家庭教育の改善④社会教育の実践強化を掲げる。
31年	2月 第一小学校講堂建築工事竣工。
	4月 教育委員選挙(公選)で3人が当選。
	6月 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が公布。教育委員は任命制、委員は5人となる。
	10月 新法施行。教育委員に公選で選ばれていた4人と女性1人を任命。
32年	4月 第1回我孫子町文化祭開催。
33年	3月 我孫子町公民館条例、我孫子町社会教育委員条例が制定される。
	10月 高野山古墳群発掘調査始まる。
34年	3月 第一小学校校舎増築、第三小学校校舎増築、第四小学校校舎増築工事が竣工。
35年	4月 日本学校安全会の業務が開始。児童一人当たり掛け金は年額20円、保護者負担は10円、町負担10円。
	7月 社会教育委員会が再発足。5人の委員を任命。
	12月 町議会、我孫子町青少年問題協議会に関する条例を可決。
36年	4月 高校生を対象とした奨学資金(貸付月額2千円以内、無利子)制度を設置。
	9月 我孫子中学校で火災が発生、6教室を除いて焼失。焼失をまぬがれた教室、第一小学校小講堂・特別教室、第二小学校、自動車教習所を使って分散授業。
	11月 我孫子中学校、仮設校舎(12教室)が完成。
37年	4月 スポーツ振興法が施行。町体育協会が発足。
	6月 体育指導員10人が決まる。 体育協会主催第1回我孫子町野球大会が農電、湖北中グラウンドで開催される(体協参加11チーム)。
	7月 町議会、湖北中学校校地拡張の土地1,155㎡の取得議案を可決。
	8月 手賀沼、利根川等我孫子地区周辺の川沼を水泳禁止区域とし、広報に掲載するが8月5日第四小学校児童が利根川で水死。
	9月 青山水門下堤防内1haを借り受け、町民運動場を開設。
	11月 文化展覧会(日本画、洋画、彫刻、工芸、書道、写真、生花、手芸、児童画、標本、菊鉢植等出展1,288点)、庭球大会(11チーム)、芸能祭(歌謡曲、日本舞踊、バレエ)を開催。 第一小学校・布佐小学校給食室を建設。3月から週5日パン・ミルクを主とした給食開始。1日30円。
38年	2月 山中湖でスケート教室開催(参加者45名)。 我孫子町野球連盟設立総会が役場で開かれる(参加22チーム)。
	4月 38年度卒業生は小学校601人、中学校663人。 中学校の高等学校進学率は、我孫子中学校202人74%、湖北中学校100人64%、布佐中学校62人62%、3校合わせて70%と広報に掲載。
	7月 教育委員会主催キャンプ教室を開催。
39年	3月 町議会、町立小学校、町立中学校設置条例を定め、公の施設として、名称・位置を定める。
	4月 青少年相談員制度を設置、49人を任命。
	8月 青少年相談員・教育委員会主催の映画祭を学校校庭6箇所で開催。
	10月 第1回町内小中学校陸上競技大会を我孫子中学校で開催。 総合文化祭(芸能祭、町民運動会、総合展覧会、菊花祭、俳句大会、軟式庭球大会、卓球大会、短歌会)を開催。
	11月 我孫子町華道連盟発足。
40年	2月 我孫子町体育公社を設立。陸上競技場・野球場・水泳プール・テニスコート・体育館の建設と運営、スポーツ行事を振興事業を計画。
	3月 青少年総合対策の一環として青年館を建築。
	7月 第四小学校、教室棟1棟鉄筋コンクリート3階建増築工事竣工。
	8月 第一小学校水泳プールが完成、プール開き。
41年	1月 成人式パーティー(第一小学校講堂)を実施。
	2月 広報で学校給食の実施状況を報告。 実施校 第一小学校(796人) 第三小学校(230人) 湖北小学校(712人) 布佐小学校(475人) 湖北中学校(403人) 計2,616人 給食費 1人1ヶ月 小学校700円 中学校800円

	9月	中央公民館開館式。 湖北小学校特殊学級教室を建築、竣工。
	10月	我孫子中学校体育館建設、竣工。 10日を「体育の日」とし、国民の祝日となる。
	11月	公民館講座開始。 青年教室～農業講座、商業講座、書道講座、自動車整備講座 成人教室～園芸講座、趣味の講座、婦人教室、手芸講座、華道講座、スポーツ教室
42年	6月	婦人学級出張講座を湖北・布佐地区を対象に開始。
43年	10月	町役場新庁舎で業務開始。教育委員会事務局は2階に。
	11月	こども県展（美術）で湖北小学校が学校賞を受賞。
44年	3月	「我孫子古墳群」刊行。
	4月	財団法人「体力づくり協会我孫子支部」発会。
	7月	全国放送陸上競技大会で湖北中学校が団体に総合優勝。
	10月	湖北台西小学校、湖北台中学校をそれぞれ湖北小学校、湖北中学校内に開校。
	11月	町民体育大会を開催。
45年	7月	市制施行。
46年	3月	第一小学校、移転開校。
	4月	我孫子市文化連盟が発足（16団体）。
	5月	市内4中学校の進路状況を広報に掲載。 卒業生523人。進学者474人、就職者30人、うち定時制高等学校入学者5人、各種学校入学者8人、在家庭11人。進学者の60.5%が公立高等学校。
	6月	湖北台中央公園に野球場1面、テニスコート4面が完成。
	11月	東葛駅伝で我孫子中学校が5連覇、湖北中学校が2位。
47年	1月	成人式を暖房等が整った施設ができるまで中止することを決定。
	3月	我孫子市文化財保護条例を制定。
	4月	教育委員会事務局組織が係制となる。 庶務課（庶務係、財務係）、学校教育課（学務係、管理係） 社会教育課（社会教育課係、社会体育係）、指導室、公民館 社会科副読本「わたしたちの我孫子」初版発行。
	5月	第一、第二、第四、湖北台西、湖北（布佐は9月から）の各小学校の付近500m範囲を対象に道路のスクールゾーンを設定。
	7月	視聴覚教材の利用促進を図るため、16ミリ映写機講習会を開催。 第一小学校、開校100周年を記念して愛唱歌を募集。 手賀沼公園市民プール完成。8月1日プール開き。
48年	1月	新春マラソン大会を開催。
	3月	第一小学校・布佐小学校創立100周年記念式典を開催。 市議会、市史編さん委員会条例を可決。
	4月	成人式に代わる「若人の集い」を我孫子高等学校で開催。
	9月	市民プールで市民水泳大会を開催。
	10月	第1回我孫子市ママさんバレーボール大会を開催。
49年	1月	成人式を我孫子中学校体育館で開催。
	5月	長寿大学を新設。
	7月	湖北中学校の女子体操部が県中学生体操競技選手権大会で初優勝。
	9月	中央公民館で家庭教育学級を開設。
50年	4月	市史編さん委員会を設置。
	5月	高野山小学校開校。
	10月	中央公民館図書室で図書の貸し出しを開始。
	11月	市史研究センター設立総会開催。
	12月	第三小学校が柴崎区画整理区域内に移転。
51年	4月	根戸小学校、久寺家中学校開校。湖北中学校移転開校。
	7月	市史の研究雑誌「我孫子市史研究」を創刊。
52年	4月	湖北台東小学校開校。湖北小学校移転。
	6月	布佐地区（字北郷の利根川堤防の内側）に少年野球専用球場が完成。
	7月	夏休み期間中の学校プールを子ども会育成会連絡協議会に加盟の団体又はPTAに開放。
	11月	日本火災海上保険グラウンドで第1回市民運動会開催。 市民陸上競技記録会を中央学院大学を会場に開催。
53年	8月	湖北地区公民館開館。 移動図書館車（そよかぜ号）運行開始（11ステーション）。中央公民館図書室は毎日貸し出しとなる。 我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団発足。

54年	10月	市民体づくり大会（旧市民運動会）を開催。
	4月	教育委員会事務局が庶務課、学校教育課、社会教育課、保健体育課、市史編さん室、指導室の4課2室体制となる。 白山中学校開校。 公民館講座につくし野教室を設置。 家庭教育学級を各小学校区10箇所で開催（月1回、年10回）。
	6月	市議会、市民会館の設置及び管理に関する条例を制定。
	11月	市民会館開館。社会教育課の事務室を移転。 市民図書館開館。窓口事務にコンピュータを導入。
55年	12月	我孫子市民フィルハーモニー管弦楽団第1回定期演奏会。 市議会、新木小学校の設置、市民図書館設置等に関する条例を制定。
	4月	新木小学校開校。 視聴覚ライブラリー、少年センターを市民会館内に開設。
56年	9月	国立スロバキア青少年少女合唱団公演を開催。
	1月	水運用管理センター4階に教育委員会事務局移転。
	3月	第1回公民館まつりを開催。 市議会、我孫子市スポーツ振興審議会条例を制定。
	4月	並木小学校開校。 公民館に婦人大学（学習期間2年）を開校。 市民図書館「第1回夏休みお楽しみ会」を開催。
57年	10月	郷土史のタベとして筑波大学と我孫子市のジョイント公開歴史講座（10回）を開催。
	11月	ファミリースポーツ講習会を開催。 手賀沼に響け郷土のはやし（民俗芸能公演）を開催。
	3月	地域歴史展「白樺派と我孫子」「利根川・手賀沼百景」展を開催。
	7月	市民図書館湖北台分館開館。 市史編さん室が民俗学講座を開設。
58年	12月	青少年相談員・少年指導員・学校関係者・民生児童委員などの協力により「青少年健全育成推進会議」を設置、啓発活動を進める。 史跡文学遊歩道計画基本計画を策定。
	2月	「明日の子どもを考える」社会教育ゼミナールを開催。 社会教育に関する市民意識調査を市民3,000人を対象に実施する。
	4月	布佐南小学校開校。
	11月	公開講演会・83世界コミュニケーション年に寄せてドナルド・キーン氏を招いて「国際社会と日本文化」を開催。
59年	12月	第1回市民図書館名画座「理由なき反抗」を市民会館で上映。
	3月	小中学生239人に58年度体育・文化活動表彰。 社会教育課事務室を教育委員会事務局へ移転。
	4月	市民会館の管理運営を教育長部局に移管。 プロゴルファー青木功氏に市民文化スポーツ栄誉章第1号を贈る。
	8月	湖北台西小学校プールを試験的に一般開放する。 全国中学生陸上選手権大会で湖北中学校3年染谷早苗さんが女子100mタイム12秒19で優勝。
60年	11月	山階鳥類研究所落成式。
	1月	元旦マラソンに1,081人が参加。
	2月	並木小学校に屋根付き土俵「並木小ちゃんこ道場」が完成、九重部屋・関脇保志関を招いて土俵開き。 長寿大学祭を開催。
	7月	市史研究センターが「THEアピコ」を出版。 湖北台西小学校、湖北小学校でプールの一般開放。
61年	12月	社会教育課「国際青年年記念ラリー」、「あびこ1YYフェスティバルー2001われらの我孫子ー」を開催。 市議会、新しい基本構想を可決、62年4月からスタート。
	3月	社会教育課が市民会館で国際婦人の10年実行委員会と「あびこ婦人フェスティバル」を開催。
	6月	我孫子市文庫連絡会が発足。
	9月	市民体育館完成、利用受付開始。体育課は体育館内に移転。
62年	10月	市民体育館開館。
	4月	教育委員会事務局組織を改正し、社会教育図書館係を社会教育課から分離。
	7月	市民図書館布佐分館開館。
	9月	市民体育館野球場・テニスコートに夜間照明設備完成、使用開始。
63年	10月	第1回我孫子市絵画展開催。
	2月	志賀直哉の書斎移築復元記念式典を開催。

平成	1 1 月	第 1 回親と子のふれあい教室「冬の野鳥観察とハイキングのつどい」を開催。
	1 2 月	市の鳥にオオバンが指定される。
元年	4 月	教育委員会事務局が 2 部制となる。 教育総務部 総務課・学校教育課・指導課 社会教育部 社会教育課（博物館係を新設）・体育課・市史編さん室・公民館・図書館（課相当組織となり、総務係、奉仕係を新設）
2 年	7 月	第 1 回我孫子市民陸上大会を開催。
	8 月	第 1 6 回全日本中学校陸上競技選手権大会で湖北中学校が 4 × 2 0 0 m で優勝。
3 年	3 月	我孫子市社会基本計画策定。
	4 月	教育委員会事務局組織として社会教育課から鳥の博物館を分離。 文化連盟講座を開講。 学習図鑑「ふるさと手賀沼」が完成。小学 5 ・ 6 年生と中学生に配布。
4 年	5 月	鳥の博物館開館。初代館長に黒田長久山階鳥類研究所長が就任。2 2 日から一般公開。 第 4 回柳田国男ゆかりサミットを利根町と共催で開催。
	9 月	JET プログラムにより ALT 採用開始。
	3 月	市議会、市青年館設置及び管理に関する条例の一部改正で 3 2 の青年館のうち 2 0 青年館を廃止する条例を可決。
	4 月	鳥の博物館が「あびこ鳥便り」を創刊、入館者に配布。 鳥の博物館入館者 1 0 万人を達成。
	5 月	バードウィーク探鳥会開催。
	6 月	鳥の博物館展示案内書を刊行、ミュージアムショップで頒布。 我孫子市水泳連盟が発足。
	7 月	市民プールオープン。小学校プールは湖北小学校、湖北台西小学校、湖北台東小学校、布佐南小学校で一般開放、他の小学校は団体開放を実施。
	8 月	レニングラード少年少女合唱団コンサートを開催。 ヤングミュージックフェスティバルを市民会館で開催。 長欠対策として水海道あすなろの里でふれあいキャンプを実施。
	9 月	小中学生理科作品展を中央公民館で開催（論文の部 2 8 3 点、工夫工作の部 2 3 2 点、標本の部 1 3 4 点）。 市民大学開放講座として、中央学院大学オープンカレッジ（2 0 講座）、川村学園女子大学（1 4 講座）を実施。
	1 0 月	市民体力づくり大会を市民陸上競技場（利根川河川敷）で開催。
1 1 月	全国学校体育研究会で新木小学校が全国保健体育優良校の表彰を受ける。	
1 2 月	鳥の博物館で鳥だこ教室開催。 我孫子市スポーツ振興基金条例を制定。	
5 年	1 月	新春マラソン大会開催（湖北台中学校周辺）、参加者 1, 0 9 8 人。
	2 月	長寿大学祭を市民会館で開催。 第 1 回鳥学講座を開催。 初心者向け古文書解読講座を中央公民館で開催。
6 年	3 月	公民館公開講座男塾、公開講演会を開催。
	4 月	湖北地区公民館が完成、竣工記念式典を開催、利用は 5 月 1 日から。
7 年	6 月	図書館全館オンラインシステム化が完了、電算可読目録の導入。 市議会、我孫子市教育研究所設置条例を制定。
	9 月	学校週 5 日制が実施される。 教育研究所及び適応指導教室「ヤング手賀沼」を設置。
8 年	1 1 月	中央公民館が優良公民館として文部大臣表彰を受賞。
	1 2 月	教育委員会事務局の勤務体制が完全週 5 日制となる。
9 年	4 月	学校休業日・終了後の小学校運動場・体育館を一般開放。 ALT の直接雇用による採用開始。
	5 月	中学校の学校給食を開始（白山中学校）。
10 年	6 月	ふれあいキャンプ場利用開始。
	4 月	湖北小学校郷土資料室を開設。
11 年	1 1 月	我孫子市民プラザがオープン。
	4 月	我孫子市情報公開条例施行。 鳥の博物館長が非常勤特別職から一般職となる。
12 年	5 月	我孫子市指定文化財第 1 号に「二十一仏武蔵石板碑」を指定。
	1 0 月	第 1 回手賀沼（ハーフ）マラソン開催。
13 年	4 月	鳥の博物館ホームページ開設。
	5 月	鳥の博物館入館者 5 0 万人を突破。
14 年	1 2 月	我孫子市民コンサートとして「第九」を演奏。

9年	4月	市民体育館に湖北駅から送迎バス運行。 市民図書館本館で祝日開館を始める。
10年	12月	こども110番の家制度スタート。
	3月	我孫子市社会教育基本計画（改訂版）を策定。
	4月	中学校給食の調理業務委託を開始。 心の教室相談員を市内6中学校に配置。
11年	4月	我孫子市補助金が公募制となる。
12年	1月	市民体育館に武道場完成、使用開始。
	4月	教育委員会事務局組織の社会教育部を生涯学習部と改称、文化課を新設。
13年	11月	シドニー五輪柔道52kg級メダリスト檜崎野教子選手に市民文化スポーツ栄誉章を授与。
	2月	取手市とスポーツ施設相互利用協定を締結し取手市グリーンスポーツセンターの市民利用が可能となる。また市内の民間温水プールの一部も協定により市民開放を実施。
	3月	7年12月から無料開放していた旧村川別荘を取得。
	4月	図書館と公民館を統括し、生涯学習を推進する組織として「生涯学習センター」を設置。 生涯学習センターの愛称を公募、「アビスタ」と決定。
	5月	五本松運動広場を一般無料開放。 学校評議員制度スタート。 第1回子ども議会開催。
14年	8月	我孫子市生涯学習市民意識調査を実施（調査対象者2,000人）
	9月	我孫子市めるへん文庫基金条例の制定。
	11月	第1回ジャパン・パードフェスティバルを開催。
	3月	生涯学習市民委員会、「我孫子市生涯学習推進計画・提言書」を提出。
	4月	我孫子市第3次総合計画第1次基本計画第1次実施計画スタート。 我孫子市生涯学習センター「アビスタ」開館。駐車場有料化。アビスタ内市民図書館が平日20時まで夜間開館。 教育委員会事務局生涯学習部社会教育課生涯学習担当を生涯学習担当（課相当組織）に改編。 「めるへん文庫」創設。作品を募集（15年1月1日入賞者表彰式）。 市民ミュージカル原作を募集。（「北に帰るのを忘れた白鳥」に決定。） 我孫子市市民図書館サービス計画を策定。
	5月	我孫子市体育館拡張事業計画策定。 社会教育委員を公募。
	7月	布佐南小学校プールを夏期休業中市民に無料開放。
	11月	図書館公式ホームページ開設。
	12月	アビスタ利用者50万人を達成。
	15年	3月
4月		教育委員会ホームページを開設。 小学校給食の調理業務委託を開始。 教育研究所に研究指導員を配置し、教育相談業務を開始。 全ALTが市直接雇用となる（JETプログラム採用廃止）。
5月		我孫子市における「子育て」「子育て」環境等に関する総合調査を実施（調査対象者3,000人）。
6月		我孫子市温水プール建設検討委員会報告を提出。
16年	8月	市民ミュージカル「北へ帰るのを忘れた白鳥」を上演。 アビスタ利用者100万人を達成。
	9月	老朽化により市民プールを廃止。 アビスタ内市民図書館利用者70万人を突破。
	10月	生涯学習出前講座88メニューでスタート。
	3月	我孫子市史「近現代篇」を刊行。
	4月	体育課内に高校総体推進室を設置。 我孫子市第3次総合計画第1次基本計画第2期実施計画策定。 我孫子市社会教育推進計画策定。 図書館子どもの読書活動優秀実践図書館団体文部科学大臣表彰受賞。 教育研究所に特別支援教育担当を設け、指導主事、福祉主事を配置し、特別支援教育の体制づくりを開始した。
	7月	小学校に安全管理員を配置し、学校生活において児童が安全に生活できる環境を整える。
17年	10月	総合型地域スポーツクラブ・根戸エンジョイクラブ設立。 アテネオリンピック・野球競技、日本チーム銅メダル獲得。 代表選手の金子誠選手に我孫子市民文化スポーツ栄誉章授与。
	4月	生涯学習担当を生涯学習部から分離し、単独部局の生涯学習推進室を設置。生涯学習部は社会教育部に改称。市史編さん室の廃止。

	6月	ロシア・バレエ・フェスティバル開催。
	8月	第1回チャレンジウォーク始まる。 我孫子市民ミュージカル「バレンタイン・ドリーム」上演。 2005千葉きらめき総体なぎなた競技開催。
	10月	小学校コンピュータ教室機器入れ替え、学校間LAN使用開始。 我孫子市スポーツ振興応援団設立。
18年	11月	図書館ホームページからの資料予約サービス開始。近隣センターでの図書館サービス開始。
	3月	我孫子市湖北地区図書館用地選定に係わる調査報告書策定。
	4月	教育研究所が指導課から分離、課相当組織となる。所内に特別支援教育センター、教科書センターを設置。生涯学習推進室に、生涯学習担当(課相当組織)を新設し、社会教育部から公民館、図書館の2課が移行し3課に。高校総体推進室の廃止。 学校給食に我孫子産米を導入。 体育施設インターネット等予約スタート。 財団法人我孫子市都市建設公社を指定管理者として公民館を管理運営させる。 図書館開館日・開館時間の拡大。 (館内整理日の開館・市民図書館 土・日・祝も20時まで時間延長) 総合型地域スポーツクラブ・三小健康クラブ及び湖北はつらつクラブ設立。
	7月	キャリア教育推進組織体制確立、小学校12校、中学校5校で職場体験学習実施。 アロハ・フェスタ in アビコ'06開催。
	12月	いじめ対策委員会設置、市内全小中学校で共通アンケートを実施。 五本松運動広場クラブハウス解体。
19年	2月	鶏民芸品展―秋篠宮コレクション―開催。
	4月	心の教室相談員を19校に配置した。
	5月	旧村川別荘が市指定文化財に指定。
	6月	我孫子第一小学校で「あびっ子クラブ」がスタート。
	7月	手賀沼文化拠点整備計画の策定。 小学校プールの一般開放。第一小学校・湖北小学校・湖北台西小学校、根戸小学校・布佐南小学校・第三小学校・第四小学校・新木小学校で実施。 2010年第65回国民体育大会の千葉県開催が決定。
	8月	アロハフェスタで歯っピースマイルフォトコンテストを開催。 我孫子市湖北地区図書館用地選定に係わる調査報告書(第二次)策定。
	9月	小・中学校にAEDを設置。
	11月	プエリ・ガウデンテス少年合唱団が我孫子市合唱祭で公演。
	12月	新木小学校、高野山小学校で人権教室を開催。 第65回国民体育大会なぎなた競技の会場地として決定。
20年	1月	図書館内検索コンピュータからの資料予約サービス開始。
	2月	手賀沼文化拠点整備計画 実行計画の策定。
	3月	根戸小学校の増築校舎が完成。
	4月	つくし野多目的広場完成。 社会教育部と生涯学習推進室を統合し生涯学習部に改称。学び推進課の新設。体育課内に国体推進室を設置。 教育研究所にケースワーカーを配置し、相談体制の充実を図った。
	5月	第65回国民体育大会我孫子市実行委員会設立発起人会を開催。
	7月	第85回東京箱根間往復大学駅伝競走総合第5位の中央学院大学陸上部にスポーツ功労章授与。 古戸里神楽が市指定文化財に指定。 ゆめ半島千葉国体我孫子市実行委員会設立総会及び第1回実行委員会総会を開催。
21年	1月	鳥の博物館元旦開館。 第16回全国小学生バドミントン選手権大会男子ダブルス5年生以下優勝の松本多聞選手にスポーツ功労章授与。 我孫子市学校支援地域本部事業「湖北台地区学校サポートセンター」発足。
	2月	五本松運動広場整備基本計画の策定。 布佐下多目的広場整備基本設計の策定。
	3月	湖北地区図書館基本計画策定。
	4月	生涯学習部を6課から4課に再編。生涯学習課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館。少年センターを生涯学習部社会教育課から教育総務部指導課に移管。 特定非営利活動法人我孫子市体育協会・株式会社東進ビルシステム共同事業体を指定管理者として市民体育館等を管理運営させる。 白樺文学館市に寄贈、市運営。
	5月	我孫子市生涯学習推進計画(第二次)～自分づくり人づくり心のまちづくり～を策定。 第50回都道府県対抗なぎなた大会(第65回国民体育大会(ゆめ半島千葉国体)なぎなた競技リハーサル大会)を開催。

	6月	我孫子市文化芸術振興条例公布。
	7月	湖北地区図書館建設用地の一部を債務負担行為で土地開発公社が先行取得。
		第64回国民体育大会関東ブロック大会なぎなた競技を市民体育館で実施。
	9月	我孫子市文化施設整備基金条例の制定。
22年	11月	湖北地区公民館指定管理者名称変更。
	1月	旧杉村楚人冠邸が市指定文化財に指定。
	2月	我孫子市文化芸術振興基本方針策定。
	4月	事業仕分けにより週5日制事業・男塾・わんぱくスクール廃止。
	9月	第65回国民体育大会ゆめ半島千葉大会「なぎなた競技会」を開催。
	10月	湖北小学校増田文庫開設。
23年	12月	我孫子市文化財保存基金条例を制定。基金を設置。
	3月	志賀直哉邸跡書齋が市指定文化財に指定。
	4月	国体推進室の廃止。
24年	11月	杉村楚人冠記念館開館。
	3月	葺不合神社が市指定文化財に指定。
	4月	中学校補助教材「ふるさと我孫子の先人たち」が完成。中学生1・2・3年生に配付。
	6月	図書館資料の返却延滞者に対し、図書館資料の貸出し及び予約の停止措置を開始。
	8月	平井康翔選手(一小、我中出身)ロンドンオリンピック競泳男子10キロマラソン出場。
25年	12月	旧井上家住宅が市指定文化財に指定。
	1月	いじめ・悩み相談ホットラインを教育研究所に開設。
	3月	学習図鑑「ふるさと手賀沼」全面改訂(第6版発行)。 我孫子市教育振興基金条例の制定。
	4月	湖北地区公民館指定管理者が変更となる。
26年	10月	我孫子市小中一貫教育推進委員会発足。
	2月	いじめ・悩み相談ホットライン メール相談開始。 我孫子市小中一貫教育基本方針策定。 日立精機2号墳が市指定文化財に指定。
	4月	指導課内に小中一貫教育推進室の設置。 小中一貫教育推進モデル地区として布佐中学校区を指定。
	6月	全国女子大学ゴルフ対抗戦の優勝をたたえ、中央学院大学ゴルフ部女子にスポーツ功労賞を贈呈。
	7月	国際アンデルセン賞作家賞を受賞した上橋菜穂子さんに市民文化スポーツ栄誉章を贈呈。
	10月	我孫子市いじめ防止対策推進条例およびいじめ防止基本方針の制定。
27年	11月	手賀沼殉難70周年式典として、手賀沼殉難教育者慰霊式を執り行う。
	4月	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、新たな教育委員会制度がスタート。 Abi☆小中一貫カリキュラムの策定。
	7月	我孫子市教育大綱の策定。
28年	11月	手賀沼殉難教育者之碑を湖北小学校に移設。
	2月	ヒカリモ発生地が市指定文化財に指定。 市内全中学校(普通教室、特別教室)にエアコン設置。
	3月	我孫子市社会教育委員条例とあびこ楽校協議会運営要綱を廃止し、我孫子市生涯学習審議会条例を制定。 我孫子市教育振興基本計画の策定。
	4月	我孫子市社会教育委員会とあびこ楽校協議会を統合し、生涯学習審議会を設置。
	5月	市内全小学校(普通教室、特別教室)にエアコン設置。
	7月	湖北郷土資料室の開室。
29年	10月	小中一貫教育布佐中学校区公開研究会を実施。
	1月	スポーツ功労表彰授与。第33回全国少年少女レスリング選手権大会女子の部3年生30キログラム優勝の木村美海さん、第39回全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季200メートル自由形優勝の柏崎清花さん、第53回日本女子学生ゴルフ選手権大会優勝の金澤志奈さん。
	3月	「我孫子市幼保小連携・接続カリキュラム」が完成。
	8月	湖北小学校の木造校舎(昭和28年建築)を一般公開後、解体。
	10月	我孫子市子ども見守り隊の発足。
	12月	第85回全国高等学校総合体育大会200m自由形優勝の柏崎清花さんにスポーツ功労表彰を授与。
30年	1月	第25回全国中学校駅伝大会優勝の白山中学校男子チームにスポーツ功労表彰を授与。 湖北地区公民館の愛称を公募、「コホミン」と決定。

我孫子の教育 平成30年度版

平成30年9月発行

編集 教育総務部総務課
発行 我孫子市教育委員会

我孫子市我孫子1684番地
電話04-7185-1110